



令和5年度 道路メンテナンス事業 中央橋橋梁補修工事

金抜設計書

工事番号 2024106900

工事名 令和5年度 道路メンテナンス事業 中央橋橋梁補修工事

施工場所 加東市 岡本 地内ほか

兵庫県 加東市

[illegible]

総括情報表

単価適用年月日	0-06. 08. 01 (0)		
	今 回		前 回
工種区分 (公共) 施工地域区分 週休 2 日補正	31 橋梁保全 26 補正無し 05 対象外		

工事費内訳書

頁0-0002/0029

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
橋梁保全工事							
橋梁付属物工							
沓座拡幅工							
チッピング							
チッピング(厚 2 cm以下)							
		9.5	m2				施工 第0-0001号内訳表
モルタル							
モルタル練 セメント(各種)							
		0.3	m3				施工 第0-0002号内訳表
支承モルタル 無収縮モルタル							
		0.3	m3				施工 第0-0003号内訳表

工事費内訳書

頁0-0003/0029

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
型枠						
型枠（沓座拡幅工）						
	6	m2				施工 第0-0004号内訳表
橋梁補修工						
ひび割れ補修工						
低圧注入工法						
ひびわれ補修工（リハビリシリンダー工法） 低圧注入工法 亜硝酸リチウム+超微粒子セメント系注入材	1	構造物				施工 第0-0005号内訳表
ひびわれ補修工 低圧注入工法 超微粒子セメント系注入材	1	構造物				施工 第0-0006号内訳表
断面修復工						
左官工法						

工事費内訳書

頁0-0004/0029

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
断面修復工（左官工法）						
	1		構造物			施工 第0-0007号内訳表
殻運搬						
人力積込 コンクリート塊						
	0.06		m3			施工 第0-0008号内訳表
殻運搬 コンクリート（無筋）構造物とりこわし ；D I D区間無し L=1.6km以下						
	0.06		m3			施工 第0-0009号内訳表
殻処分						
処分費 コンクリート殻（無筋） ；投棄量0.06m3						
	1		式			施工 第0-0010号内訳表
表面被覆工						
下地処理						
下地処理 高所作業車無（固定足場）						
	2,100		m2			施工 第0-0011号内訳表

工事費内訳書

頁0-0005/0029

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
表面含浸工 シラン系含浸材 ロス率含む						
	2,100	m2				施工 第0-0012号内訳表
グラウト再注入工法						
グラウト再注入工法						
通気口確認工						1
	52	箇所				
注入準備工						1
	52	箇所				
グラウト補修材充填工						1
	52	箇所				
後処理工						1
	52	箇所				
排気用・注入用材料						1
	1	式				
充填材料						1
	1	式				

工事費内訳書

頁0-0006/0029

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
特許使用料						
労務費材料費の合計に率を乗じる	8	%				
排水施設工						
排水管撤去						
排水管撤去工 ；鋼材	43	m				施工 第0-0013号内訳表
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し	0.5	t				施工 第0-0014号内訳表
現場発生品及び支給品運搬 ；クレーン装置付 2t級 2.9t吊 L=11.5km以	0.5	t				施工 第0-0015号内訳表
吊り足場						
足場工						
足場工（足場）	1	式				施工 第0-0016号内訳表

工事費内訳書

頁0-0007/0029

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
	足場工（朝顔）						施工 第0-0017号内訳表
		1		式			
	防護工[シート張]						施工 第0-0018号内訳表
		1		式			
仮設工							
交通管理工							
交通誘導警備員							
交通誘導警備員 B							施工 第0-0019号内訳表
		30		人日			
直接工事費計							
共通仮設費計							
技術管理費							
				式			

工事費内訳書

頁0-0008/0029

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋探索工 横向き						施工 第0-0020号内訳表
	102		m2			
削孔・シース開削工						
	120		箇所			
CCDカメラ調査						
	120		箇所			
塩化物調査						
	120		箇所			
共通仮設費率 分						
			式			
純工事費計						
現場管理費						
			式			
工事原価計						
一般管理費等						
			式			

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
スクラップ除							
				式			
鉄屑 ペー H1							
		0.520		t			
工事価格計							
消費税相当額							
総 計				式			

積算単価算出表

チッピング (厚 2 cm 以下)

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0010/0029

1

m2	当り
----	----

[illegible]

モルタル練

[規格 2]

頁0-0011/0029

m3	当り
----	----

[illegible]

施工 第0-0003号内訳表

支承モルタル

[規格 2]

[摘要]

m3

当り

[illegible]

型枠（沓座拡幅工）

頁0-0013/0029

m2	当り
----	----

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0014/0029

ひびわれ補修工（リハビリシリンダー工法）

[規格1] 低圧注入工法

[規格2] 亜硝酸リチウム+超微粒子セメント系注入材 [摘要]

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
浸透拡散型亜硝酸リチウム40%水溶液 プロコン40相当品	0.3	kg			
超微粒子セメント系注入材 アーマ #600相当品	0.3	kg			
ひび割れシール材 アーマ #120P相当品	26.7	kg			
低圧注入器具 リハビリシリンダー相当品	94	個			
諸雑費		%			#01 労務費の合計額に率を乗じる
単 位 当 り	1	構造物			

施工単価表

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0015/0029

ひびわれ補修工

[規格1] 低圧注入工法

[規格2] 超微粒子セメント系注入材

[摘要]

1

構造物 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
超微粒子セメント系注入材 アーマ #600相当品	0.2	kg			
ひび割れシール材 アーマ #120P相当品	2.1	kg			
低圧注入器具 リハビリシリンダー相当品	72	個			
諸雑費		%			#01 労務費の合計額に率を乗じる
単 位 当 り	1	構造物			

施工単価表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0016/0029

断面修復工（左官工法）

[規格1]		[規格2]		[摘要]		1	構造物	当り
名 称 ・ 規 格		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
土木一般世話役				人				1
特殊作業員				人				1
普通作業員				人				1
断面修復材				m3				
諸雑費				%			#01	
単 位 当 り		1		構造物				
A 作業区分				=1	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理->有り			
B 1 構造物当りの延べ体積(m3)				=0.06	1 構造物当りの延べ体積(m3)			
C ★★断面修復材の単価(円/m3)				=	★★断面修復材の単価(円/m3)			

頁0-0018/0029

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

施工 第0-0010号内訳表

処分費

[規格 2]

[摘要]

式 当り

[illegible]

施工 第0-0011号内訳表

100	m2	当り
-----	----	----

[規格 1] 高所作業車無（固定足場）

[規格 2]

[摘要]

[illegible]

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0021/0029

〔規格 1〕シラン系含浸材

〔規格 2〕ロス率含む

[摘要]

m2

当り

[illegible]

施工 第0-0013号内訳表

10	m	当り
----	---	----

[規格 1] [規格 2]

[illegible]

現場発生品及び支給品積込み・荷卸し

積算単価算出表

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0023/0029

[規格1]			[規格2]		[摘要]		1		t	当り
標準単価	代表機劣材規格			構成比	基準単価	積算規格	単 価	補 正 構成比	備 考	
	K1		トラック へーストラック2t級 2.9t吊 [クレーン装置付]			トラック [クレーン装置付] 2t級 2.9t吊				
	K									
	R1		特殊作業員			特殊作業員				
	R2		運転手(特殊)			運転手(特殊)				
	R									
	Z1		軽油 ハ° トロール給油			軽油				
	Z									
						計				
	積算単価 =									
	A	トラック機種	=1		クレーン装置付 2t級 吊能力2.9t					

[規格 1]

[摘要]

1

t	当り
---	----

[illegible]

施工 第0-0016号内訳表

頁0-0025/0029

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

式 当り

[illegible]

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0026/0029

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

式

当り

[illegible]

施工 第0-0018号内訳表

防護工[シート張]

当り

[illegible]

施工 第0-0019号内訳表

交通誘導警備員 B

人目 当り

[illegible]

施工 第0-0020号内訳表

鉄筋探査工

当り

[illegible]

数量総括表

工事名	令和5年度 道路メンテナンス事業 中央橋橋梁補修工事				事業区分	道路維持	
					工事区分	橋梁保全工事	
工種・種別・細目			算式		数量	単位	摘要
本工事費							
橋梁保全工事							
橋梁附属物工							
沓座拡張工							
チッピング							
チッピング(厚2cm以下)			9.536 = 9.5		9.5	m2	
モルタル							
モルタル練	セメント(各種)		0.32 = 0.32		0.3	m3	
支承モルタル	無収縮モルタル		0.32 = 0.32		0.3	m3	
型枠							
型枠(沓座拡張工)			6.4 = 6.4		6	m2	
橋梁補修工							
ひび割れ補修工							
低圧注入工法							
	ひびわれ補修工	低圧注入工法					
		超微粒子セメント系注入材	1.0 = 1		1	構造物	
		補修延長	下部工 16.08 = 16		m		
		注入材(超微粒子セメント注入材)	0.231 = 0.2		kg		ロス率50%含む
		シール材(無機系・アーマ#120含む)	下部工 2.133 = 2.1		kg		ロス率30%含む

数量総括表

工事名		令和5年度 道路メンテナンス事業 中央橋橋梁補修工事						事業区分	道路維持				
								工事区分	橋梁保全工事				
工種・種別・細目				算式				数量	単位	摘要			
			ひびわれ補修工	注入器	下部工								
					72	=	72	個					
			ひびわれ補修工 (リハビリシリンダー工法)	低圧注入工法									
				亜硝酸リチウム+超微粒子セメント系注入材	1.0	=	1.0	1	構造物				
				補修延長	主桁	横桁	9.60	10.55	20.2	=	20	m	
				注入材（亜硝酸リチウム40%水溶液）	主桁	横桁	0.112	0.252	0.4	=	0.3	kg	ロス率30%含む
				注入材（超微粒子セメント注入材）	主桁	横桁	0.103	0.233	0.3	=	0.3	kg	ロス率50%含む
				シーリング材（無機系・アーマー#120含む）	主桁	横桁	12.730	13.992	26.7	=	26.7	kg	ロス率30%含む
				注入器	主桁	横桁	41	53	94.0	=	94	個	
							断面修復工						
			左官工法										
			断面修復工(左官工法)	ポリマーセメントモルタル	主桁	横桁	下部工						
					0.035	0.034	0.001	0.069	=	0.06	1	構造物	
			殻運搬										
			人力積込	コンクリート塊									
					0.06	=	0.06	0.06	m3				
			殻運搬	コンクリート(無筋)構造物とりこわし									
				DID区間無 L=1.6km以下	0.06	=	0.06	0.06	m3				
			殻処分										
			処分費	コンクリート殻(無筋)									
				投棄量0.06m3	1.0	=	1.0	1	式				
			表面被覆工										
			下地処理										
			下地処理	高所作業車無(固定足場)									
				サンダーケレン等	2100.8	=	2100.8	2100	m2				

数量総括表

工事名	令和5年度 道路メンテナンス事業 中央橋橋梁補修工事						事業区分	道路維持	
							工事区分	橋梁保全工事	
工種・種別・細目				算式			数量	単位	摘要
			表面含浸工	リフレバセットD70相当					
				ロス率含む	2100.8	= 2100.8	2100	m2	
			グラウト再注入工法						
			グラウト再注入工法						
			通気口確認工		52.0	= 52.0	52	箇所	
			注入準備工		52.0	= 52.0	52	箇所	
			グラウト補修材充填工		52.0	= 52.0	52	箇所	
			後処理工		52.0	= 52.0	52	箇所	
			排気用・注入用材料		1.0	= 1.0	1	式	
			充填材料		1.0	= 1.0	1	式	
			特許使用料		1.0	= 1.0	1	式	
			排水施設工						
			排水管撤去						
			排水管撤去工	鋼材	43.1	= 43.1	43	m	
			現場発生品積込み	鋼材	厚み 幅 延長 鋼材単位重量				
					0.003 × 0.48 × 43.1 × 7850 / 1000	= 0.520	0.5	t	
			現場発生品運搬	鋼材	0.520	= 0.520	0.5	t	
			吊り足場						
			足場工						
			足場工(足場)		必要面積 890m2 供用月数 4.6ヶ月		1	式	

数 量 総 括 表

工事名	令和5年度 道路メンテナンス事業 中央橋橋梁補修工事					事業区分	道路維持		
						工事区分	橋梁保全工事		
工種・種別・細目			算式			数量	単位	摘要	
		足場工(朝顔)		必要面積 890m2 供用月数 4.6ヶ月			1	式	
		防護工[シート張]		必要面積 890m2 供用月数 4.6ヶ月			1	式	
仮設工									
	交通管理工								
	交通誘導警備員								
	交通誘導警備員B		30.0	=	30.0	30	人日		
共通仮設費									
技術管理費									
	鉄筋探査工	横向き	102.0	=	102.0	102	m2		
	削孔・シース開削工		120.0	=	120.0	120	箇所		
	CCDカメラ調査		120.0	=	120.0	120	箇所		
	塩化物調査		120.0	=	120.0	120	箇所		
	スクラップ控除		鉄くず	ヘビーH1					
			0.520	=	0.520	0.520	t		

特記仕様書

工事名 令和5年度 道路メンテナンス事業 中央橋橋梁補修工事
工事場所 加東市 岡本 地内ほか
工期 令和7年3月7日まで

第1条 本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という）、「土木請負工事必携」、「土木工事施工管理基準」、「小型構造物標準図集」（兵庫県県土整備部）によるものとする。

第2条 共通仕様書に対する特記事項は、次のとおりとする。

1 工事用地区域外への立ち入り

請負者は、工事用地以外の区域へ立ち入りする場合は、必ず所有者の承諾を得ること。

2 関係機関との調整

地区代表者・隣接土地所有者、その他関係者に工事着手前には十分な工事計画、方法等についての説明をし、施工にあたってはトラブルの発生がないように十分な配慮及び調整を行うこと。特に田植え、稲刈り等の耕作上重要な時期の作業については、作業工程に配慮すること。また、施工に先立ち、地下埋設物（上下水道、ガス、NTT、農水管、電気等）も十分調査し、必要に応じて関係機関と立会・調整を行うこと。

3 道路付属物並びに占有物件の処置

工事施工のため支障となる道路の付属物並びに占有物件がある場合には、その処置について予め監督員と協議するものとする。

4 安全確保

請負者は、工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、共通仕様書第1編 1-1-29 事故報告書の2に該当する場合は、監督員の指示により下記URLにアクセスし、事故報告様式に入力の上、監督員が指示する期日までに発注者に提出しなければならない。

ホームページアドレス <http://sas.ejcm.or.jp/>（建設工事事故データベース）

5 建設副産物について

1) 再生資源の活用

本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（（平成12年法律第104号）。以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、特定建設資材の分別等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

2) 再生資源の利用の促進

請負者は、建設副産物適正処理推進要綱（建設事務次官通達、平成14年5月30日）を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図らなければならない。

(1) 提出様式

本工事については、再生資源の活用促進に関する法律に基づく再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成するものとする。

なお、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画及びその実施状況の記載する様式については、建設副産物対策近畿地方連絡協議会が発行する再生資源利用【促進】計画書（実施書）を使用するものとする。

(2) 提出方法

作成した再生資源利用【促進】計画書（実施書）は、1部は自社で工事完成後1年間保管し、計画書は1部、実施書は1部と再生資源利用【促進】入力システムを用いて作成した実施書CDを監督員に提出するものとする。

3) 再生資源化等をする施設の名称及び所在地

品 目	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受 入 等 諸 条 件	その他
Con殻 (無筋)	大林道路(株) 東条アスファルト混合所	1.5km	加東市天神1228- 39外20筆		

上表 3) 再生資源化等をする施設の名称及び所在地の搬出先については、積算条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではなく、請負者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、請負者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。

4) 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督職員に報告することとする。

なお、書面は再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を兼ねるものとする。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

6 交通誘導員の配置

交通誘導員については、交通誘導員 A 一名 交通誘導員 B 30 名 計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は設計図書に関して監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。

なお、交通誘導員 A、B の定義は次のとおり。

交通誘導員 A：警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導員警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導

警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る 1 級検定合格警備員又は 2 級検定合格警備員

交通誘導員 B：警備業者の警備員で、交通誘導員 A 以外の交通の誘導に従事するもの

7 共通的工種

工期設定

工期は土・日曜日、祝日を含んでいる。

8 変更設計図面の作成

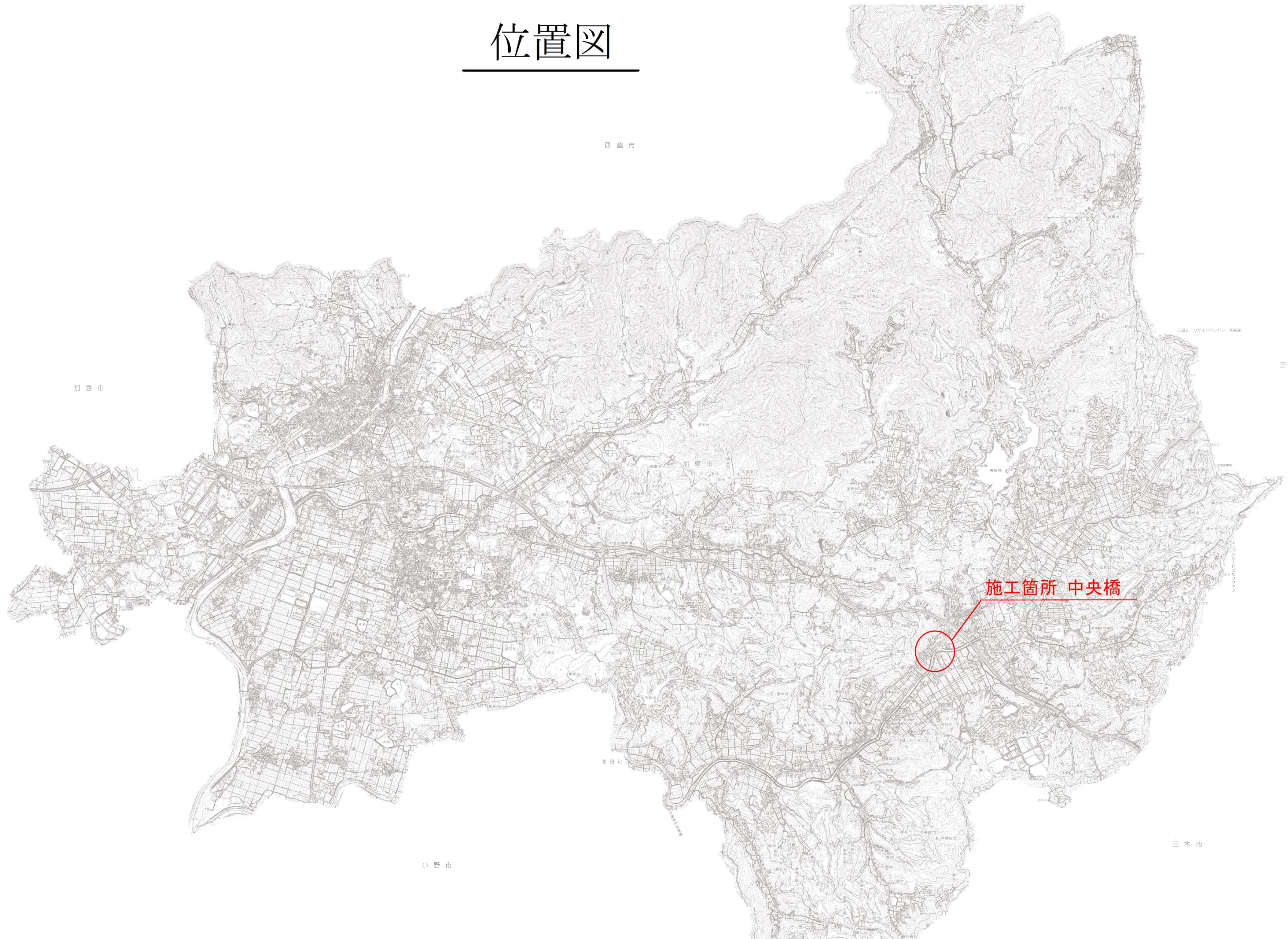
請負者は、設計変更が生じる場合、設計変更用の変更図面、変更数量表を作成し、紙 1 部と電子データを監督員に提出すること。

9 その他

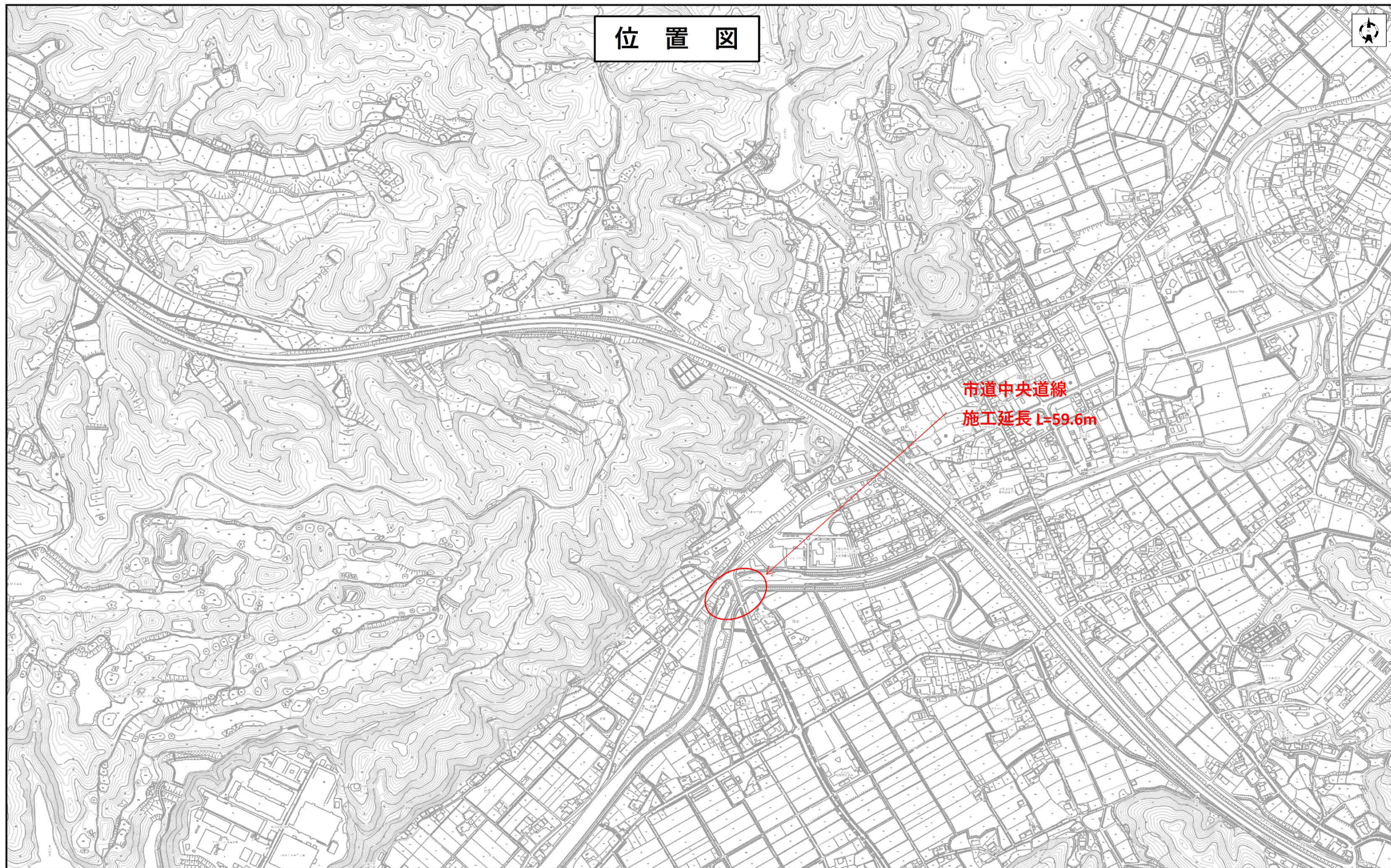
- ・コロナ対策として「建設業におけるコロナウイルス感染予防対策ガイドライン（令和 2 年 5 月 14 日版）に準ずるものとする。
- ・特許料は予定価格に含まれて算出する。請負業者が特許権者であり、特許料が不要であっても減額変更はしない。
- ・特記仕様書及び共通仕様書・土木請負工事必携・土木工事施工管理基準に記載のない事項および疑義が生じた場合は、監督員と協議のうえその指示に従うものとする。
- ・工事看板は下図を標準とする。



位置図

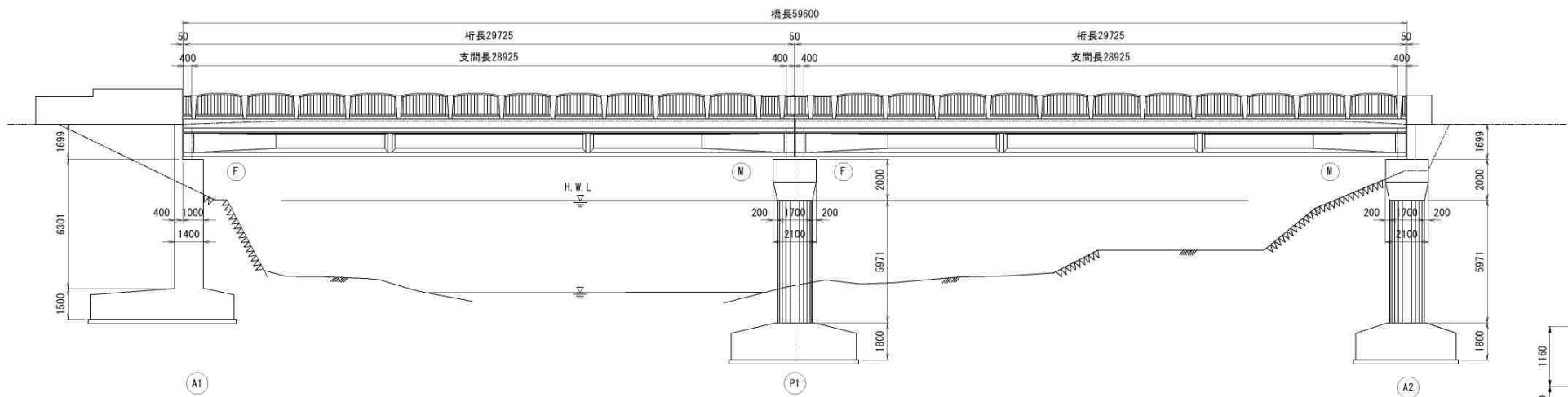


位置図



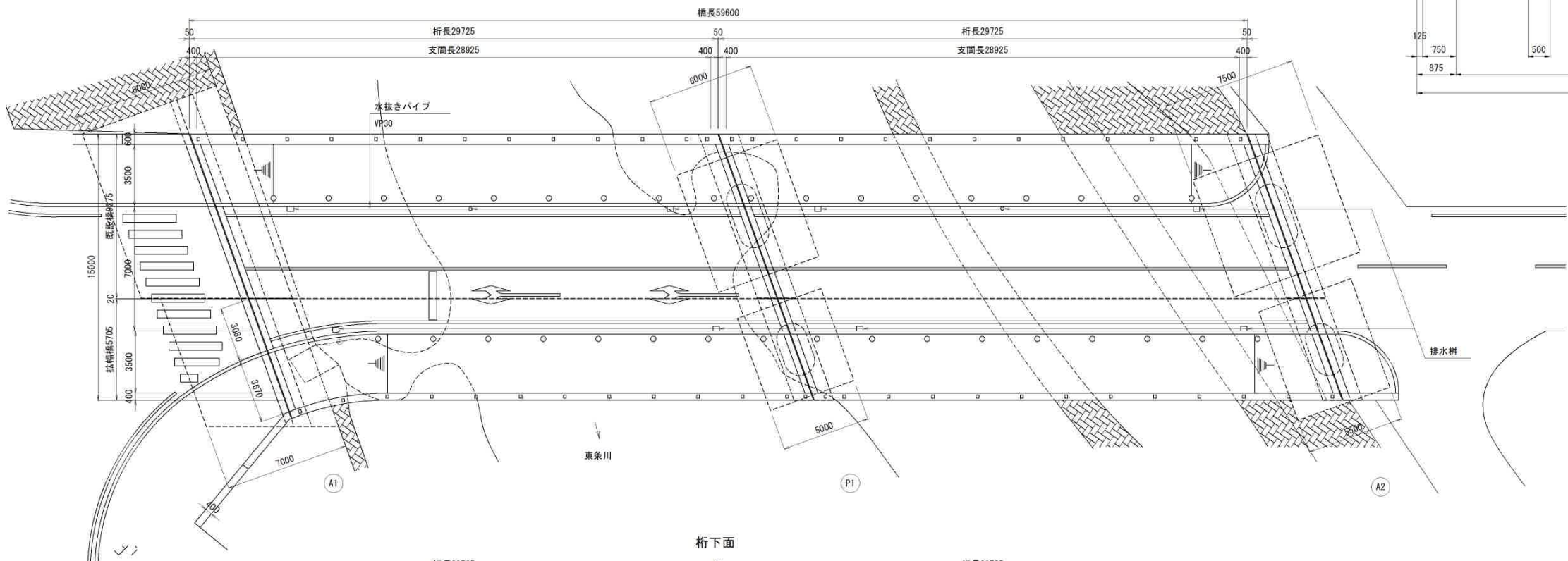
中央橋 橋梁一般図

側面図 S=1:150

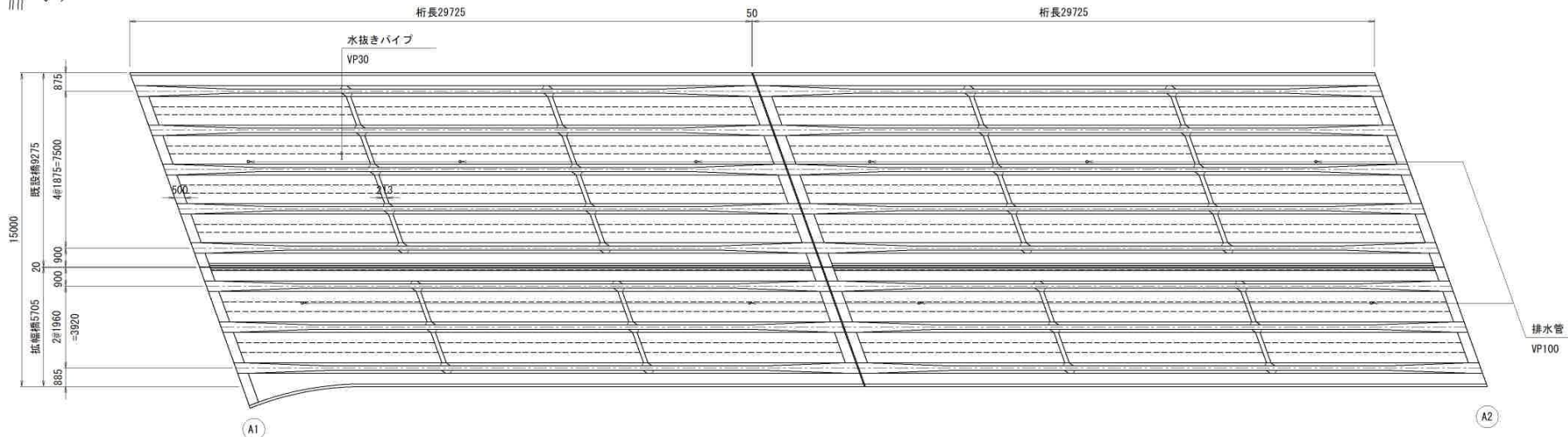


平面図 S=1:150

橋面



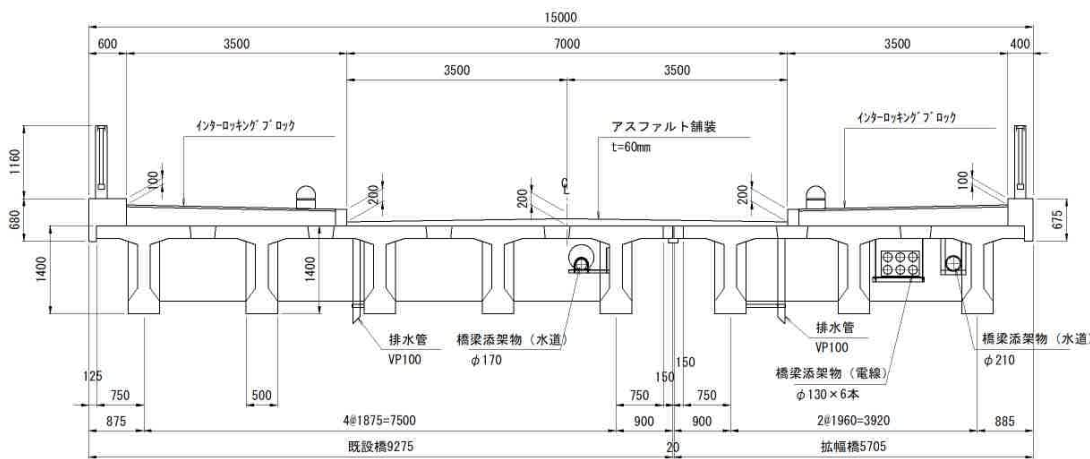
桁下面



設計条件

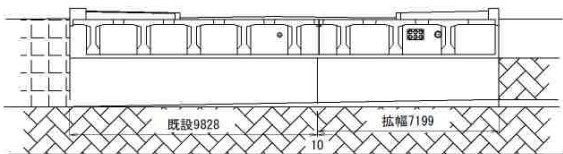
設計条件	
橋梁諸元	
橋 種	ポストテンション方式2径間PC単純T桁橋
適用示方書	昭和53年 道路橋示方書(既設橋) 平成6年 道路橋示方書(拡幅橋)
規格・設計荷重	TL-20
橋 長	59.600m
桁 長	29.725m + 29.725m
有効幅員	車道 7.000m 歩道 3.500m+3.500m
下筋工及び基礎工形式	橋台：逆T式橋台 橋脚：T型橋脚柱小判型(RC) 基礎形式：直接基礎
竣工年月	昭和58年(既設橋)、平成8年(拡幅橋)

上部工断面図 S=1:60

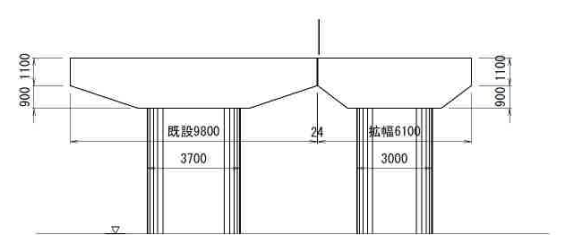


下部工断面図 S=1:150

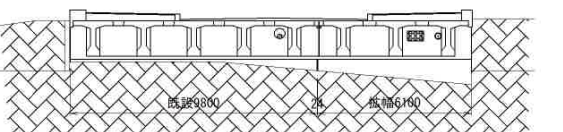
A1橋台



P1橋脚



A2橋台

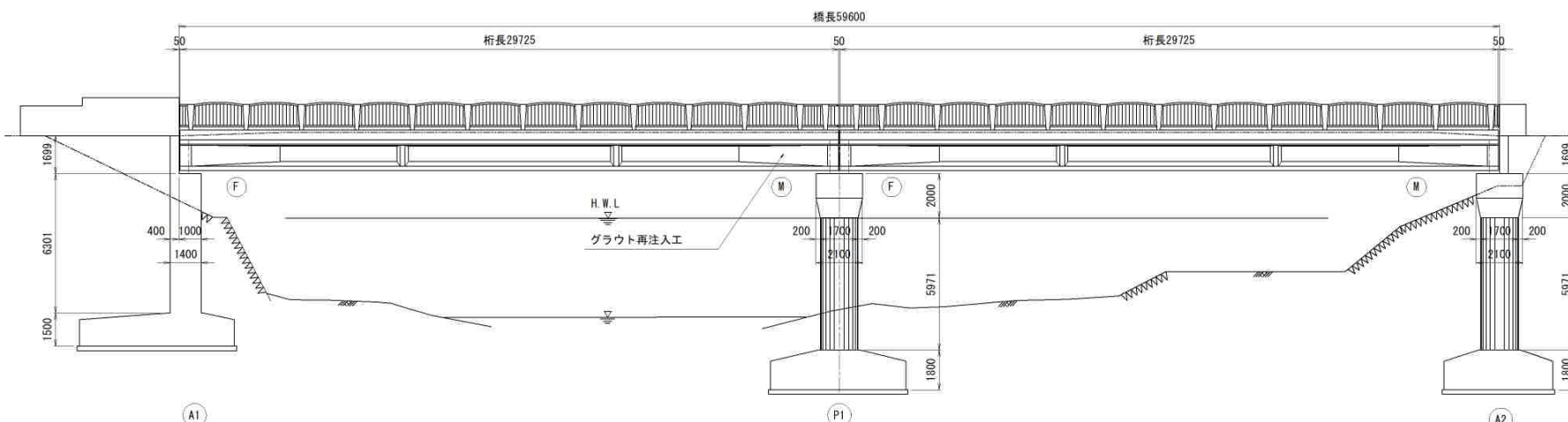


(注意事項)

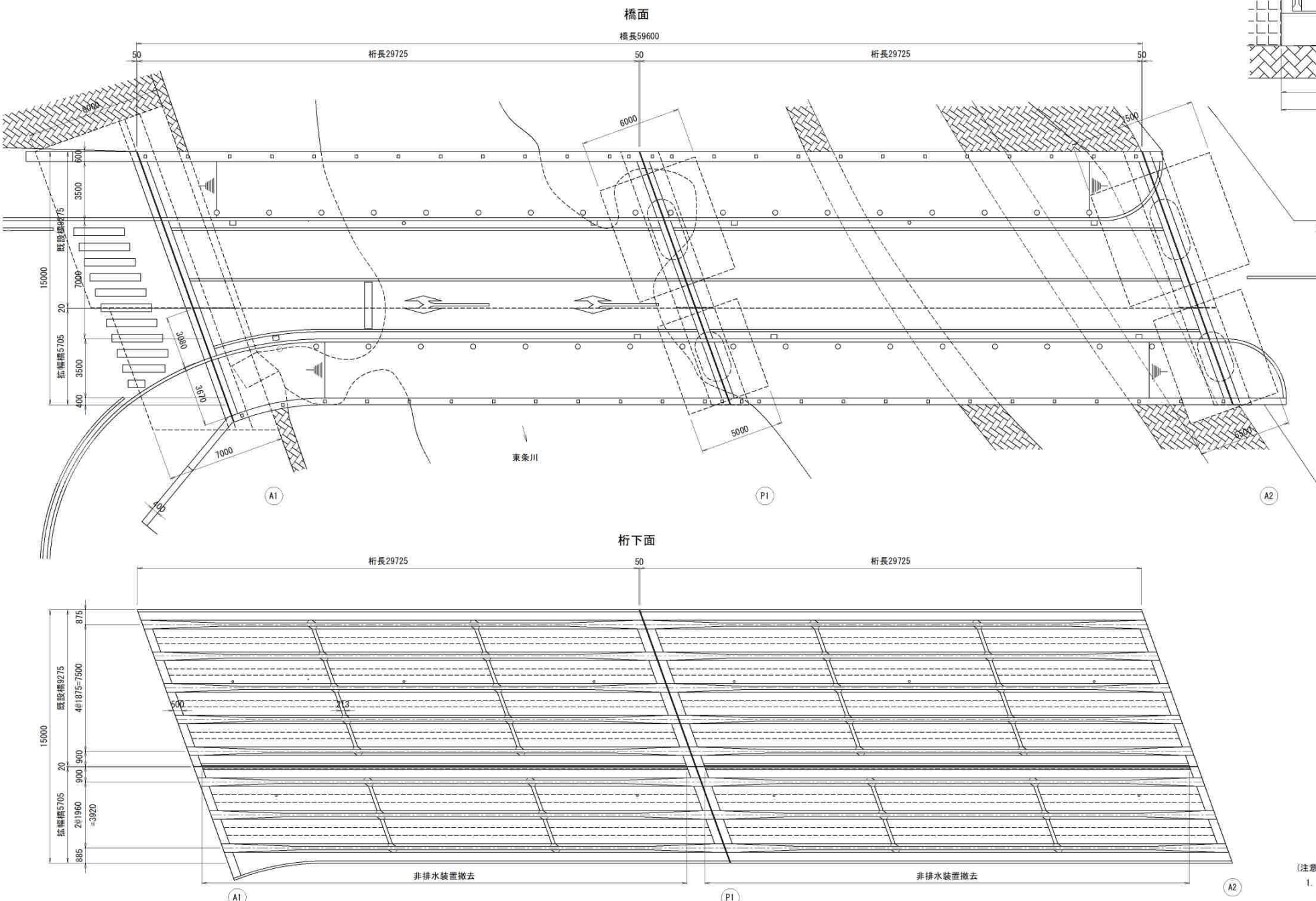
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

中央橋 補修工一般図

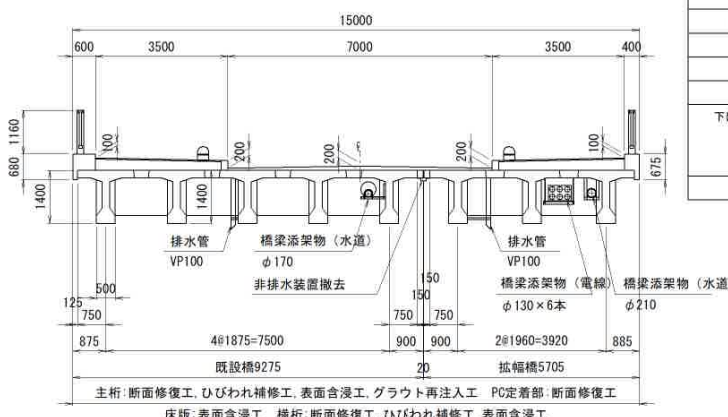
側面図 S=1:150



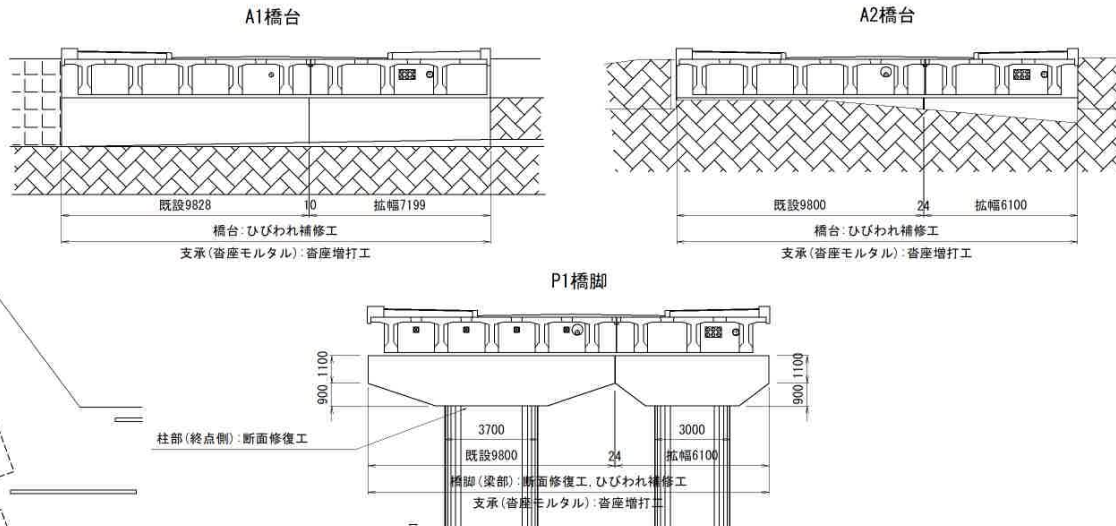
平面图 S=1:150



上部工断面图 S=1:100



下部工断面图 S=1:150



補修箇所一覧表

対象部位	損傷内容	補修項目
主桁	剥離・鉄筋露出、ひびわれ	断面修復工、ひびわれ補修工
	劣化因子の侵入	表面含浸工
	グラウト未充填	グラウト再注入工
PC定着部	うき	断面修復工
横桁	剥離・鉄筋露出、ひびわれ	断面修復工、ひびわれ補修工
	漏水・遊離石灰	表面含浸工
	劣化因子の侵入	
床版	劣化因子の侵入	表面含浸工
下部工	剥離・鉄筋露出、ひびわれ	断面修復工、ひびわれ補修工
	漏水	
支承(沓座モルタル)	ひびわれ	沓座増打工
非排水装置	腐食	非排水装置撤去

(注意事

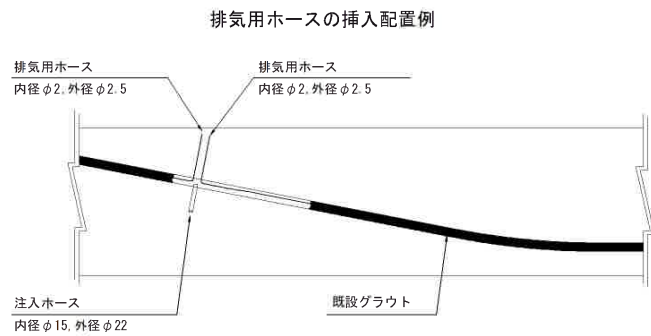
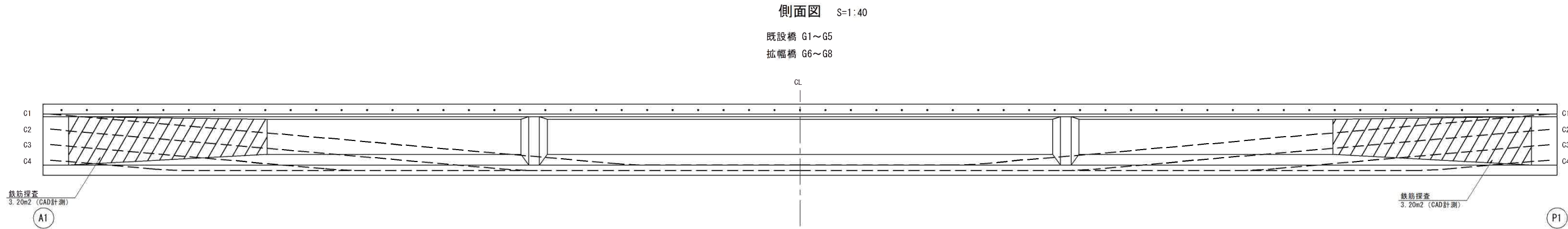
1. 本図面は、点検調書および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

設計条件	
	橋梁諸元
橋 種	ポストテンション方式2径間PC単軌1桁橋
適用示方書	昭和53年 道路橋示方書 (既設橋) 平成6年 道路橋示方書 (拡幅橋)
規格・設計荷重	TL-20
橋 長	59.600m
桁 長	29.725m + 29.725m
有効幅員	車道 7.000m 歩道 3.500m+3.500m
下部工及び基礎工形式	橋台：逆T式橋台 橋脚：T型欄脚柱小判型(RC) 基礎形式：直接基礎
竣工年月	昭和58年(既設橋) 平成8年(拡幅橋)

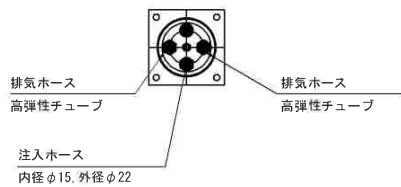
令和5年度 道路メンテナンス事業		中央橋梁補修工事	
市道 中央道線			
加東市 岡本 地内ほか			
補修工一般図		2	業 2
縮尺	図示		
加東市			

中央橋 補修図(その1)

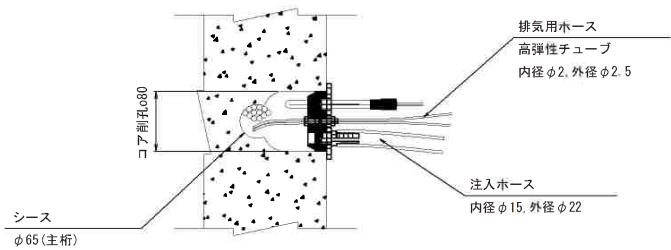
－ グラウト再注入工要領図(参考図)－



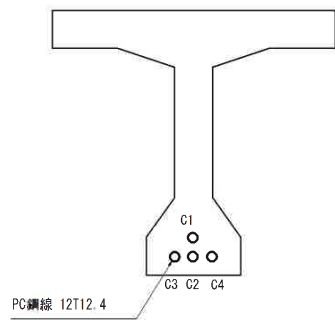
側面詳細図



断面図（注入位置）



主桁断面図
(支間中央部)



主ケーブル長(想定)

名称	1ケーブルあたり(平均)	
	起点	終点
再充填長(m)	既設部	4.425
	拡幅部	1.475

1.グラウト再注入量は、既設橋A1-P1 G3桁 及び 拡幅橋A1-P1 G2桁 で実施したグラウト調査により設定している。

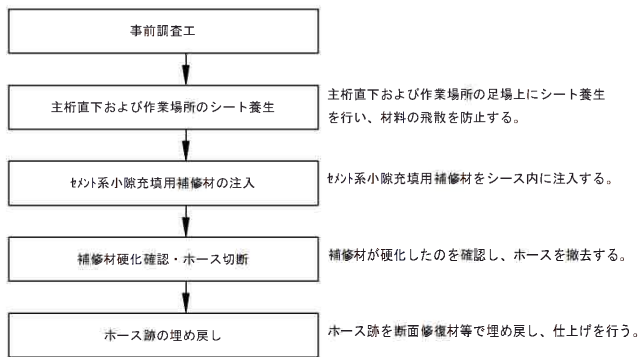
グラウト再注入エリパッシブ工法(Lグレード)

名称	仕様	単位	数量
グラウト再注入工	既設部	箇所	40
	拡幅部	箇所	12

＜注＞
1.グラウト再注入量は、既設橋A1-P1 G3桁 及び 拡幅橋A1-P1 G2桁 で実施したグラウト調査により設定している。

(注意事項)
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

補修エフロー(リパッシブ工法 Lグレード)



事前調査工

名称	仕様	単位	数量
鉄筋探査工	横向き	m ²	102.4
削孔・シース開削工	Φ25mm程度	箇所	120
CO ₂ 調査		箇所	120
塩化物調査(シース内)		箇所	120

＜注＞
1.塩化物調査はコア採取後に実施すること。
2.調査箇所数は全シース本数×2か所(量端)から過年度調査済み箇所数を差し引いた箇所数である。

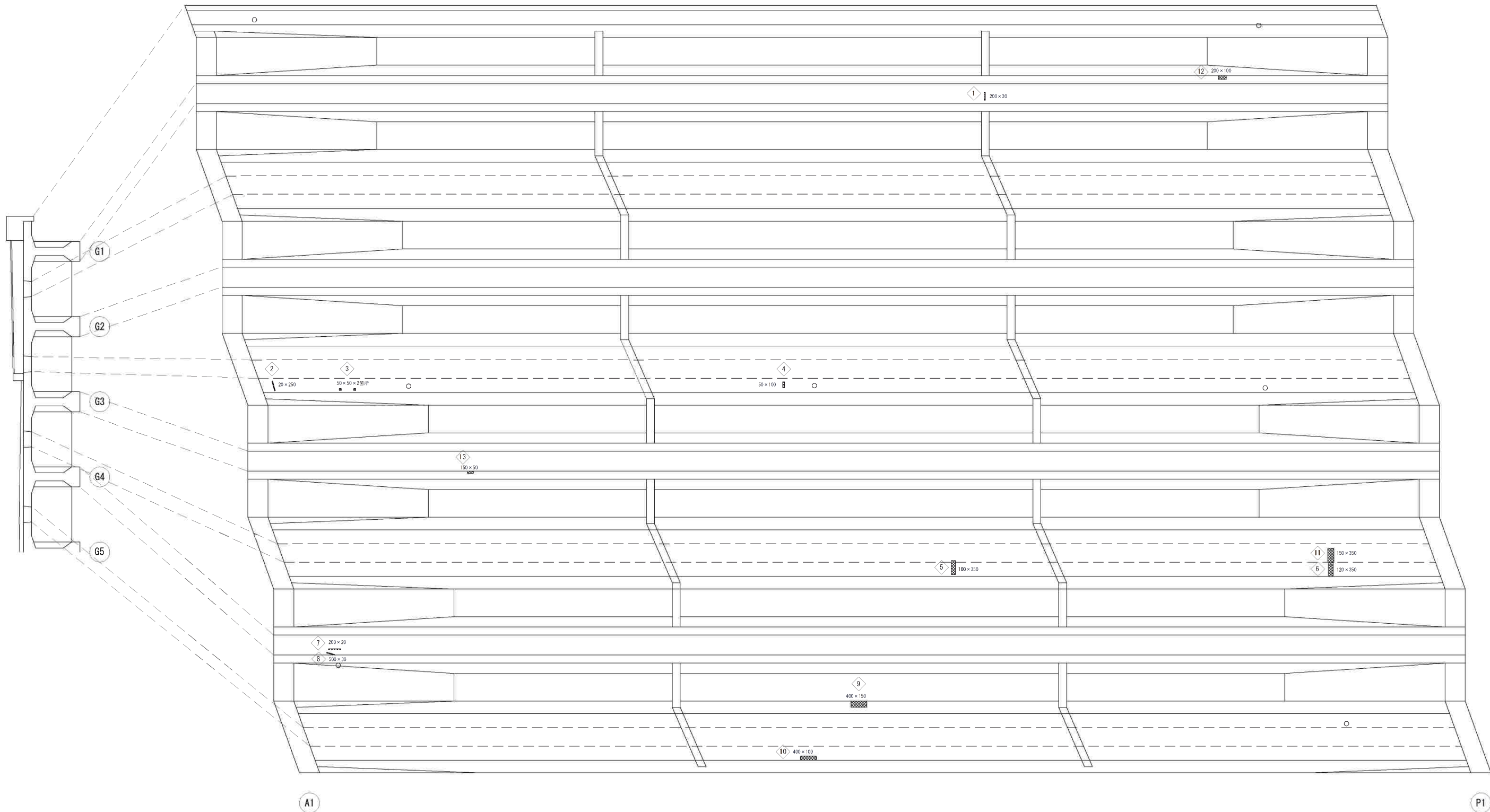
令和5年度 中央橋橋梁補修工事 道路メンテナンス事業		
市道 中央道線		
加東市 岡本 地内ほか		
中央橋 補修図(その1) グラウト再注入工要領図(参考図)	3	表 全
縮尺	図示	21
加東市		

中央橋 補修図(その2)

S=1:50

－ 主桁・床板補修工 (1) －

桁下面 (A1-P1)



補修 凡例	
損傷の種類	表示
断面修復工	n

(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

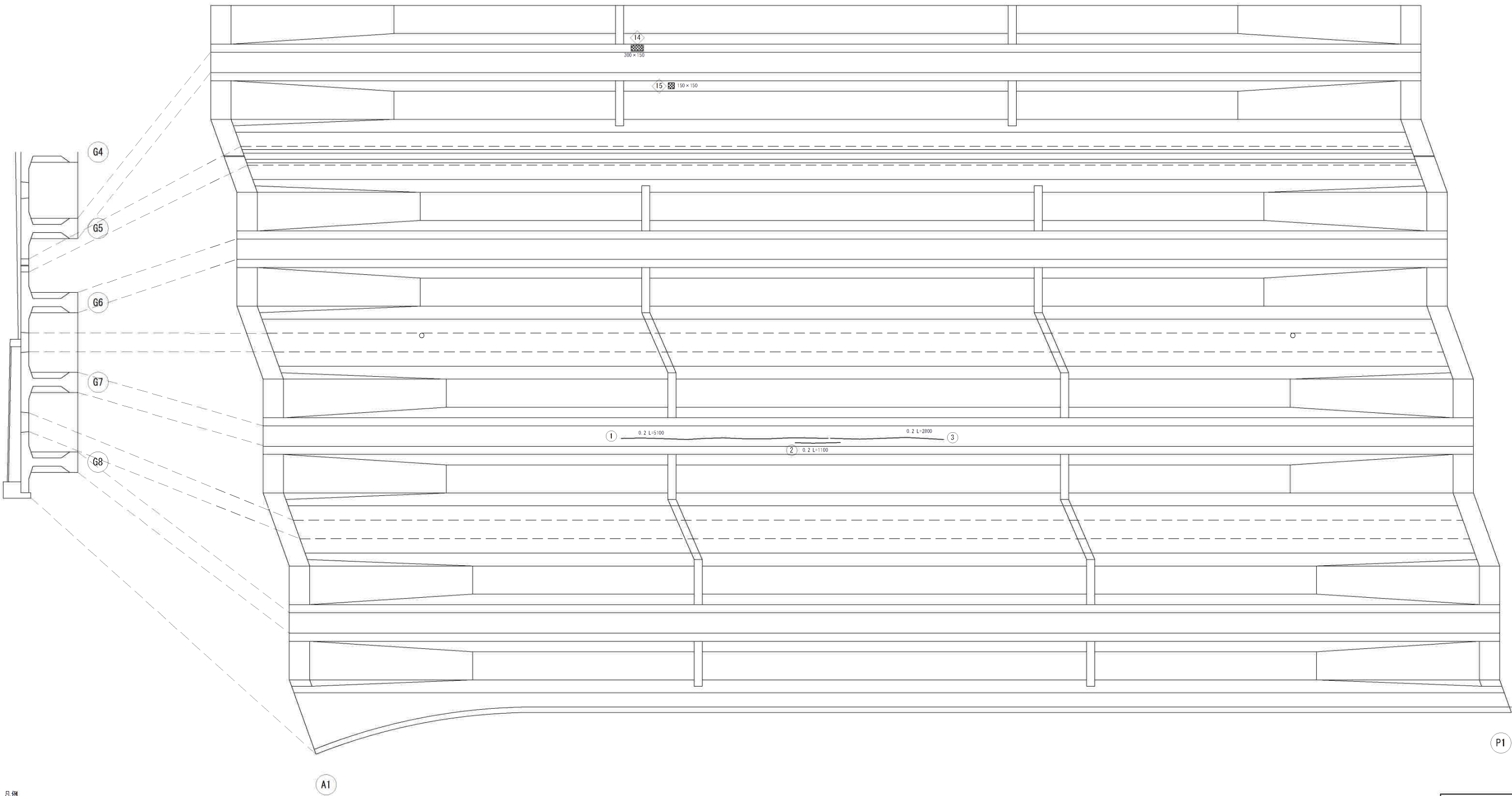
令和5年度 中央橋橋梁補修工事	
道路計画課	
市道 中央道線	
加東市 岡本 地内ほか	
中央橋 補修図(その2)	4 業 全
主桁・床板補修工(1)	
縮尺	図示
加東市	

中央橋 補修図(その3)

S=1:50

－ 主桁・床板補修工 (2) －

桁下面 (A1-P1)



補修 凡例

損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (リハビリシンダー工法)	
断面修復工	

(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、
設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

令和5年度 中央橋橋梁補修工事 道路計画事業	
市道 中央道線	
加東市 岡本 地内ほか	
中央橋 補修図(その3) 主桁・床板補修工 (2)	5 業 全
縮尺	図示 21
加 東 市	

中央橋 補修図(その4)

S=1:50

－ 主桁・床板補修工（3）－

桁下面 (A1-P1)

ひびわれ注入エー覧表（リハビリシリンダー工法）

桁下面 (A1-P1)

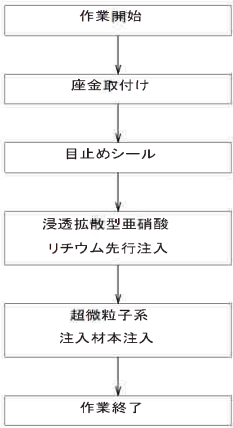
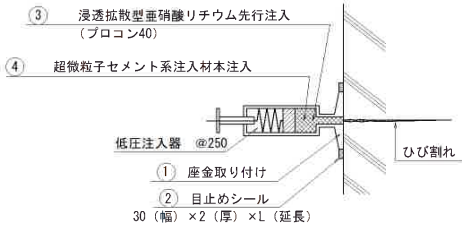
番号	ひびわれ		箇所	ひびわれ長 (m)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)			
①	0.20	× 5100	1	5.100	主桁07
②	0.20	× 1100	1	1.100	主桁07
③	0.20	× 2800	1	2.800	主桁07
合計				9.000	

断面修復エー覧表

桁下面 (A1-P1)

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積 (㎡)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)			
①	剥離・鉄筋露出	200	× 30	1	0.006	主桁01
②	剥離・鉄筋露出	20	× 250	1	0.005	主桁03
③	剥離・鉄筋露出	50	× 50	2	0.005	主桁03
④	剥離・鉄筋露出	50	× 100	1	0.005	主桁03
⑤	剥離・鉄筋露出	100	× 350	1	0.035	主桁04
⑥	剥離・鉄筋露出	120	× 350	1	0.042	主桁04
⑦	剥離・鉄筋露出	200	× 20	1	0.004	主桁04
⑧	剥離・鉄筋露出	500	× 30	1	0.015	主桁04
⑨	剥離・鉄筋露出	400	× 150	1	0.060	主桁05
⑩	剥離・鉄筋露出	400	× 100	1	0.040	主桁05
⑪	剥離・鉄筋露出	150	× 350	1	0.053	主桁04
⑫	剥離・鉄筋露出	200	× 100	1	0.020	主桁01
⑬	剥離・鉄筋露出	150	× 50	1	0.008	主桁03
⑭	剥離・鉄筋露出	300	× 150	1	0.045	主桁05
⑮	剥離・鉄筋露出	150	× 150	1	0.023	主桁05
合計					0.366	

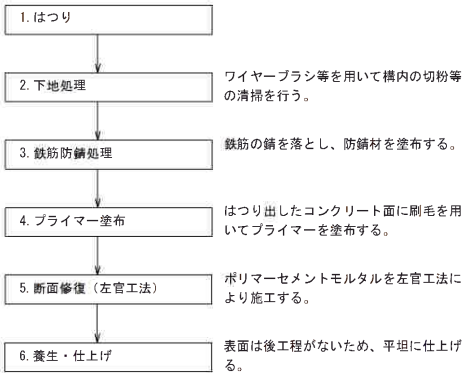
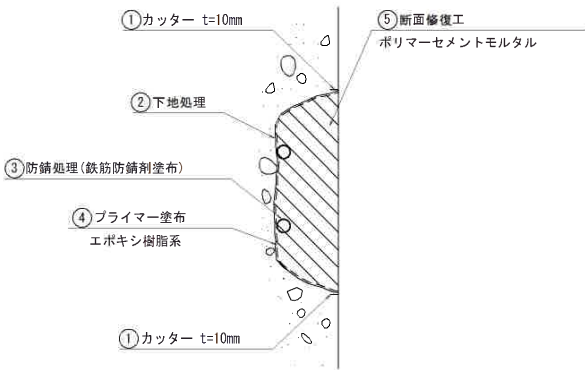
ひびわれ注入エ（リハビリシリンダー工法）



※ 注意事項

- 注入作業はシール材が確実に養生硬化していることを確認してから行い、注入圧0.4MPa以下の低圧で、かつ低速で注入すること。
- 注入パイプ等の除去は、注入材が硬化していることを確認してから行い、シール材除去後コンクリート面を平滑処理すること。

断面修復工



※ 注意事項

- 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1cm程度、コンクリートカッターにより切断目地を入念に施工する。
- 剥離・豆板部は、うき・ぜい弱部分をはつり取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面を補修する。
- 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防錆処理を入念に行った後、断面補修する。
- 断面修復材
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。
- かぶり
純かぶり30mmを最低確保すること。

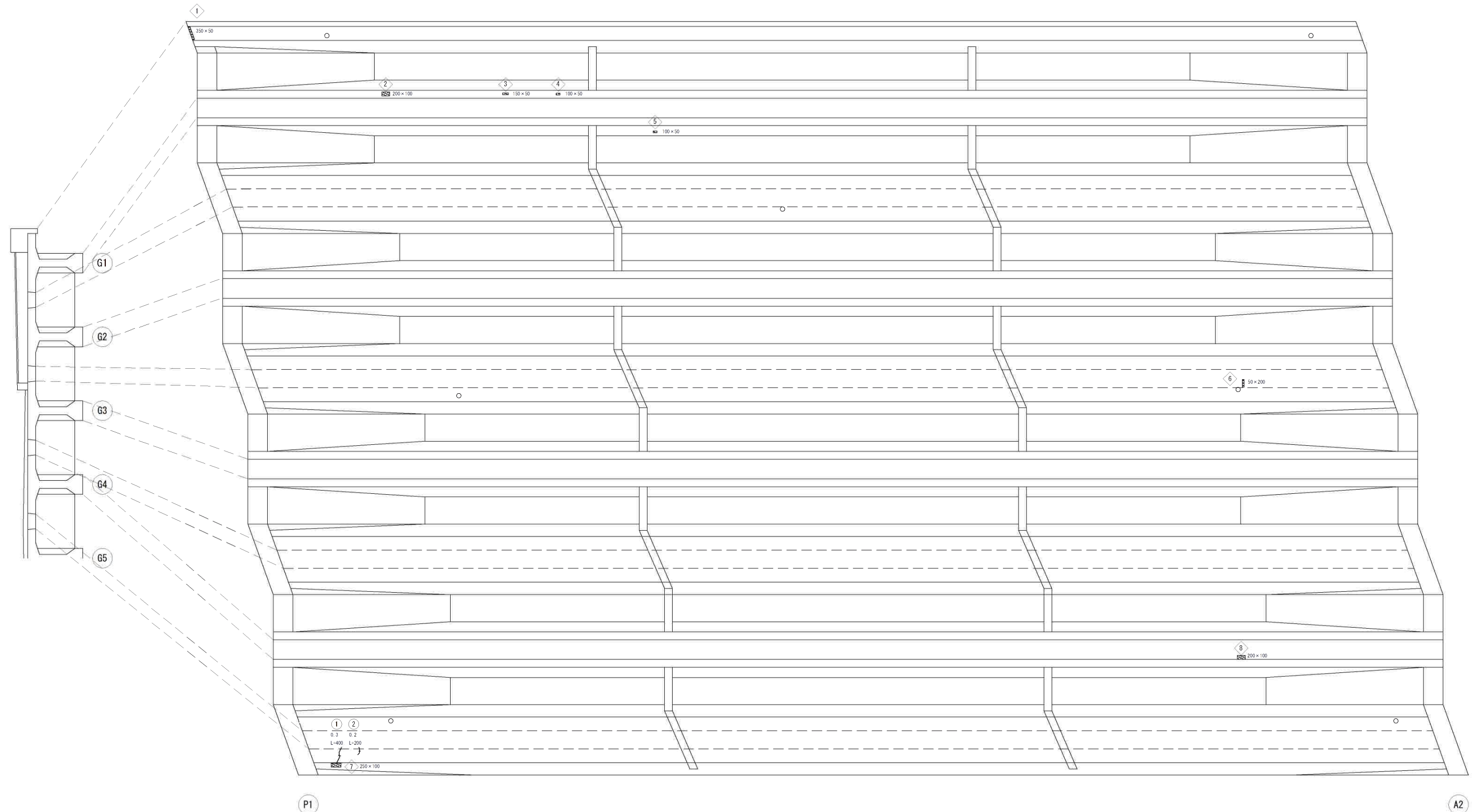
補修 凡例

損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (リハビリシリンダー工法)	①
断面修復工	②

令和5年度 中央橋橋梁補修工事 道路維持費事業	
市道 中央道線	
加東市 岡本 地内ほか	
中央橋 補修図(その4) 主桁・床板補修工(3)	6 業 全
縮尺 図示	21
加 東 市	

S=1:50

桁下面 (P1-A2)



損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (リハビリシリンダー工法)	 
断面修復工	 

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

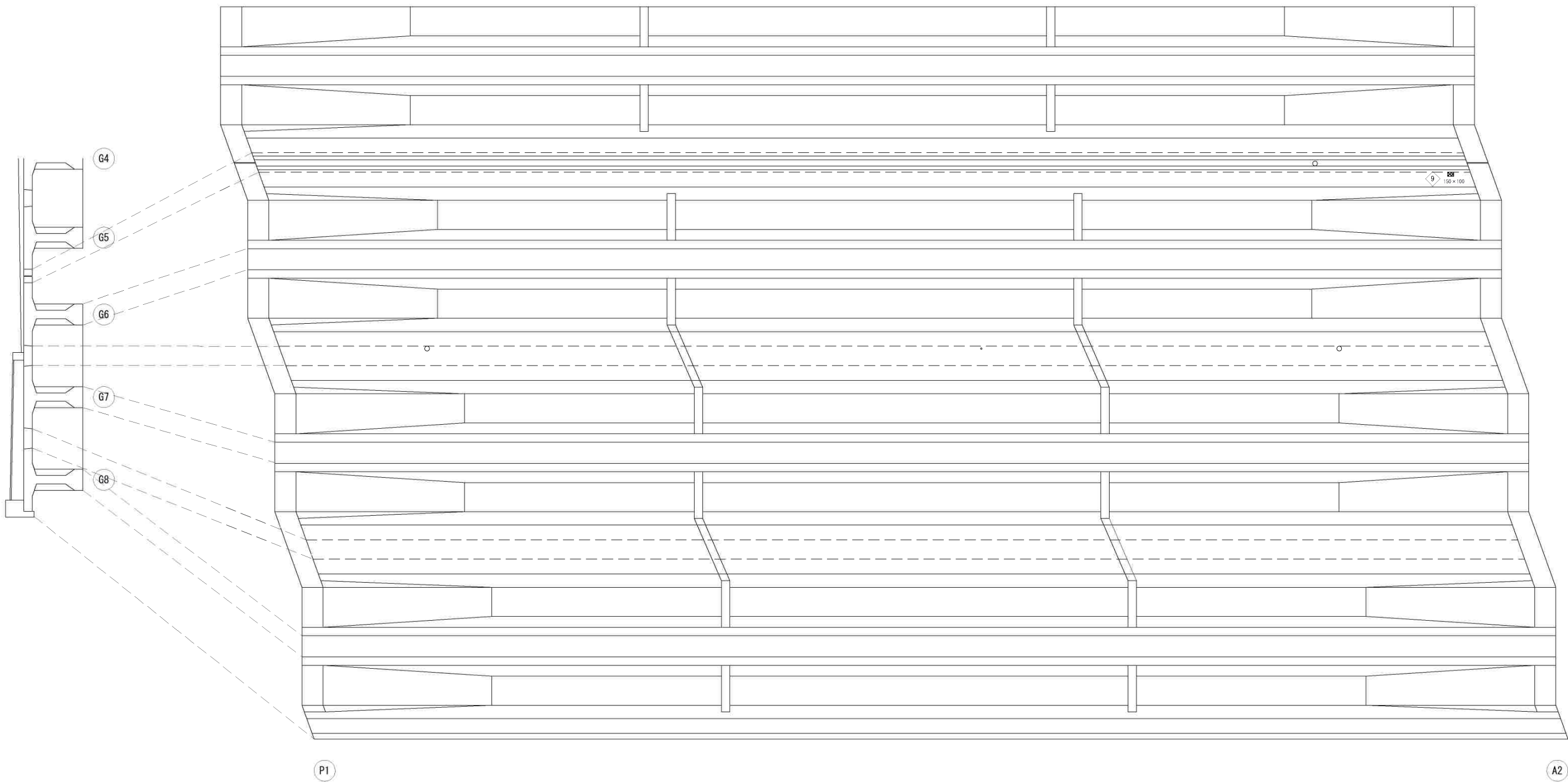
令和 5 年度 道路メンテナンス事業		中央橋樑梁補修工事	
市道 中央道線			
加東市 岡本 地内ほか			
中央橋 補修図(その5) 主桁・床板補修工(4)		7	業 全
縮尺 図示			21
加 東 市			

中央橋 補修図(その6)

S=1:50

－ 主桁・床板補修工 (5) －

桁下面 (P1-A2)



補修 凡例	
損傷の種類	表示
断面修復工	

(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

令和 5 年度 中央橋橋梁補修工事	
道路維持費事業	
市道 中央道線	
加東市 岡本 地内ほか	
中央橋 補修図(その6)	8 業 金
主桁・床板補修工 (5)	
縮尺	図示 21
加 東 市	

中央橋 補修図(その7)

S=1:50

－ 主桁・床板補修工（6）－

桁下面 (P1-A2)

ひびわれ注入エー覧表（リハビリシリンダー工法）

桁下面 (P1-A2)

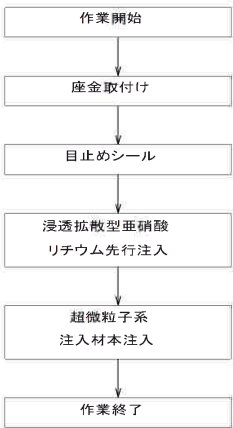
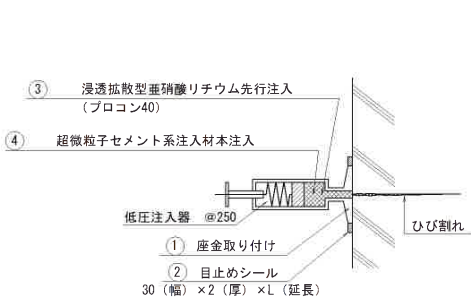
番号	ひびわれ		箇所	ひびわれ長 (m)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)			
①	0.30	× 400	1	0.400	主桁05
②	0.20	× 200	1	0.200	主桁05
合計				0.600	

断面修復エー覧表

桁下面 (P1-A2)

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積 (m2)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)			
①	剥離・鉄筋露出	350	× 50	1	0.018	主桁01
②	剥離・鉄筋露出	200	× 100	1	0.020	主桁01
③	剥離・鉄筋露出	150	× 50	1	0.008	主桁01
④	剥離・鉄筋露出	100	× 50	1	0.005	主桁01
⑤	剥離・鉄筋露出	100	× 50	1	0.005	主桁01
⑥	剥離・鉄筋露出	50	× 200	1	0.010	床版03
⑦	剥離・鉄筋露出	250	× 100	1	0.025	主桁05
⑧	剥離・鉄筋露出	200	× 100	1	0.020	主桁04
⑨	剥離・鉄筋露出	150	× 100	1	0.015	主桁06
合計					0.126	

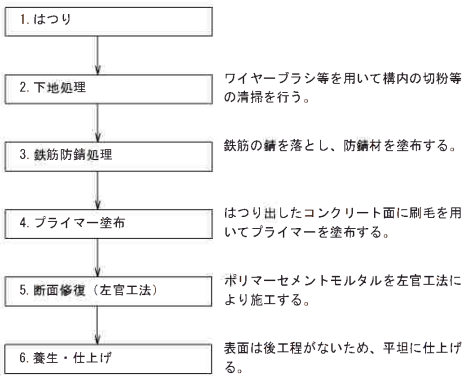
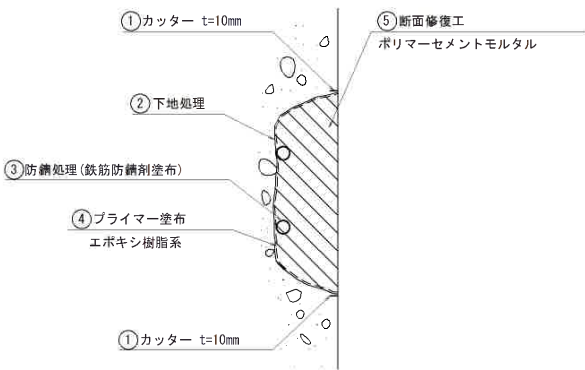
ひびわれ注入エ（リハビリシリンダー工法）



※ 注意事項

- 注入作業はシール材が確実に養生硬化していることを確認してから行い、注入圧0.4MPa以下の低圧で、かつ低速で注入すること。
- 注入パイプ等の除去は、注入材が硬化していることを確認してから行い、シール材除去後コンクリート面を平滑処理すること。

断面修復工



※ 注意事項

- 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1cm程度、コンクリートカッターにより切断目地を入念に施工する。
- 剥離・豆板部は、うき・ぜい弱部分をはつり取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面を補修する。
- 鉄筋露出部は、はつり後、鉄筋の防錆処理を入念に行った後、断面補修する。
- 断面修復材
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案)〔工法別マニュアル編〕平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。
- かぶり
純かぶり30mmを最低確保すること。

補修 凡例

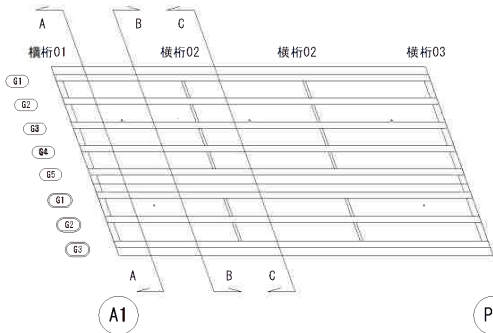
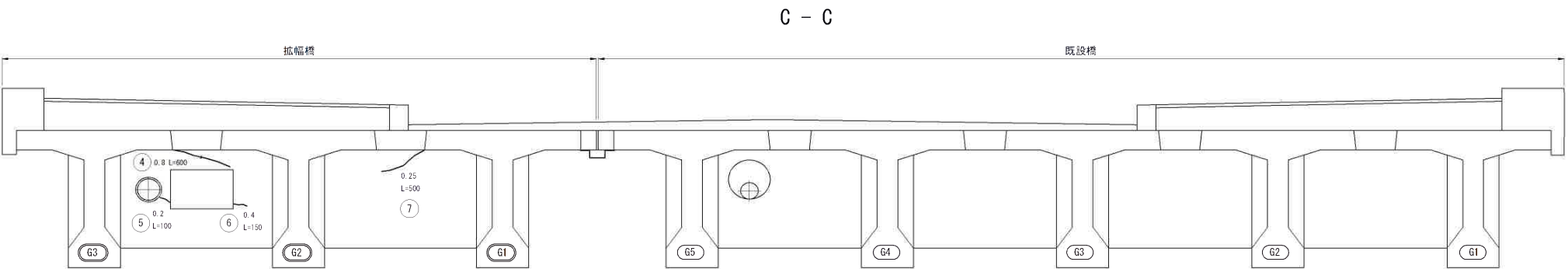
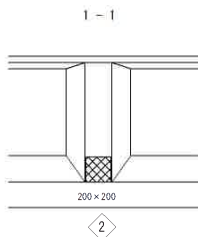
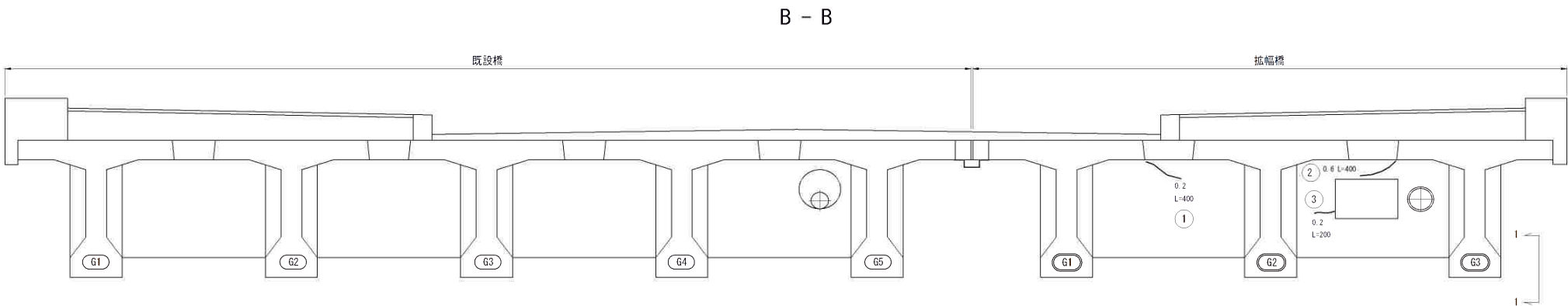
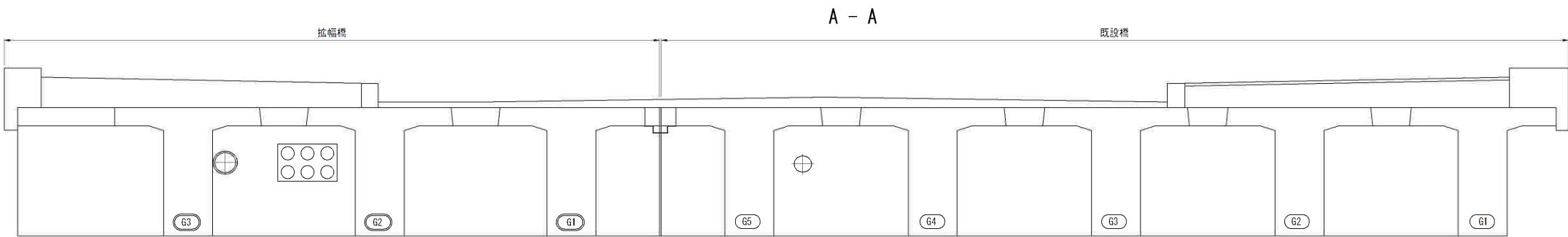
損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (リハビリシリンダー工法)	①
断面修復工	②

中央橋 補修図(その8)

S=1:30

－ 横桁補修工 (1) －

横桁 (A1-P1)



(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

補修 凡例

損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (リハビリシンダー工法)	(n) ~~~~~
断面修復工	(n) [hatched box]

令和5年度 中央橋橋梁補修工事 道路計画事業	
市道 中央道線	
加東市 岡本 地内ほか	
中央橋 補修図(その8) 横桁補修工(1)	10 業 全
縮尺 図示	21
加 東 市	

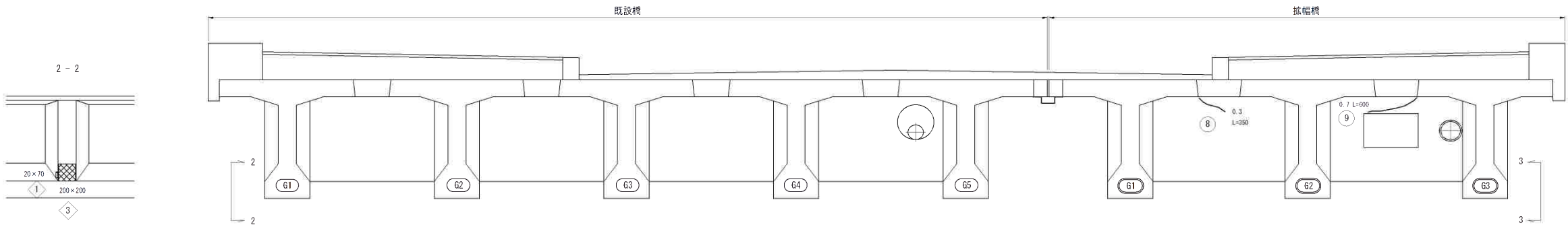
中央橋 補修図(その9)

S=1:30

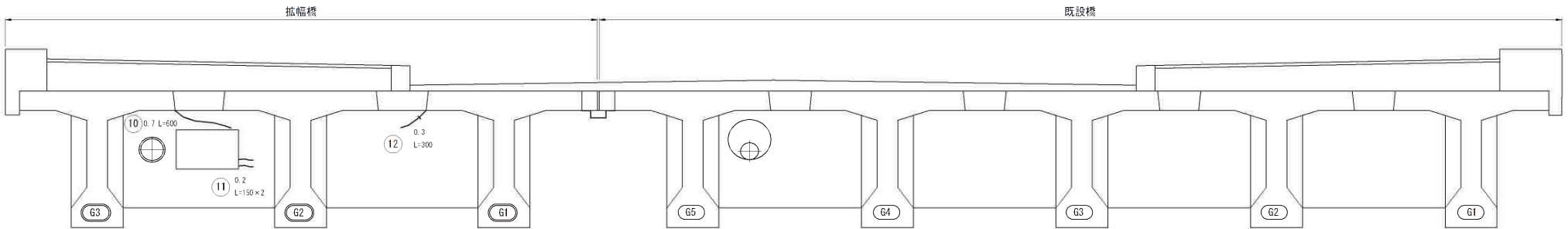
－ 横桁補修工 (2) －

横桁 (A1-P1)

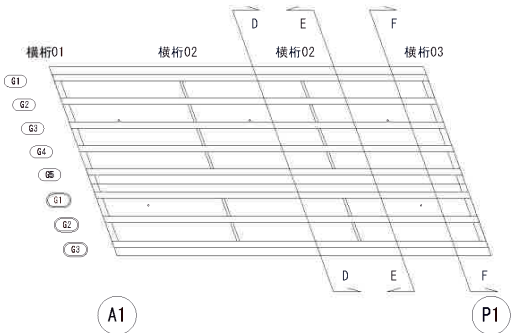
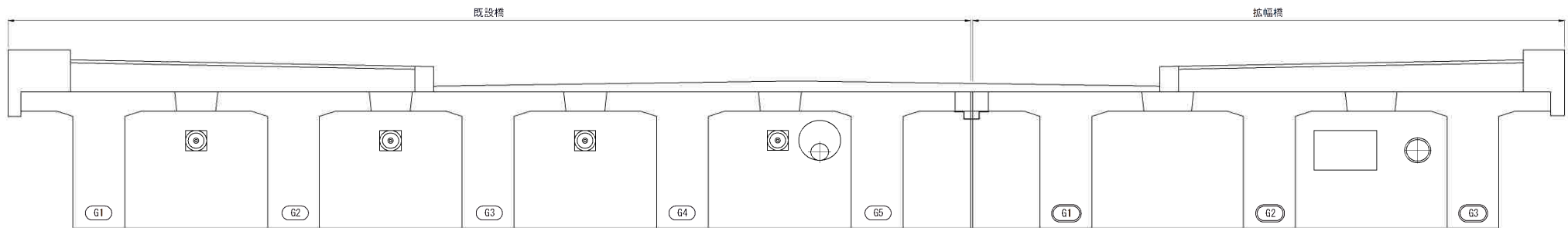
D - D



E - E



F - F



(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

補修 凡例

損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (リハビリシンダー工法)	n
断面修復工	n

令和5年度 道路維持事業	中央橋橋梁補修工事
市道 中央道線	
加東市 岡本 地内ほか	
中央橋 補修図(その9) 横桁補修工 (2)	11 業 全
縮尺 図示	21
加東市	

中央橋 補修図(その10)

S=1:30

－ 横桁補修工 (3) －

横桁 (A1-P1)

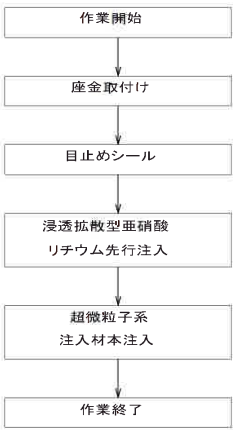
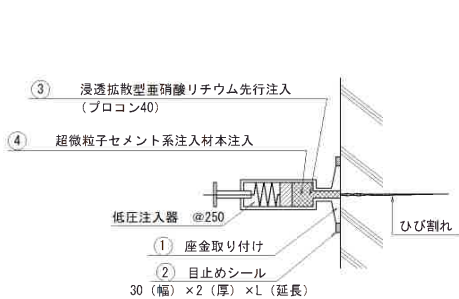
ひびわれ注入エー覧表（リハビリシリンダー工法）

番号	ひびわれ		箇所	ひびわれ長 (m)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)			
①	0.20	× 400	1	0.400	横桁02
②	0.60	× 400	1	0.400	横桁02
③	0.20	× 200	1	0.200	横桁02
④	0.80	× 600	1	0.600	横桁02
⑤	0.20	× 100	1	0.100	横桁02
⑥	0.40	× 150	1	0.150	横桁02
⑦	0.25	× 500	1	0.500	横桁02
⑧	0.30	× 350	1	0.350	横桁02
⑨	0.70	× 600	1	0.600	横桁02
⑩	0.70	× 600	1	0.600	横桁02
⑪	0.20	× 150	2	0.300	横桁02
⑫	0.30	× 300	1	0.300	横桁02
⑬	0.20	× 800	1	0.800	横桁03
合計				5.300	

断面修復エー覧表

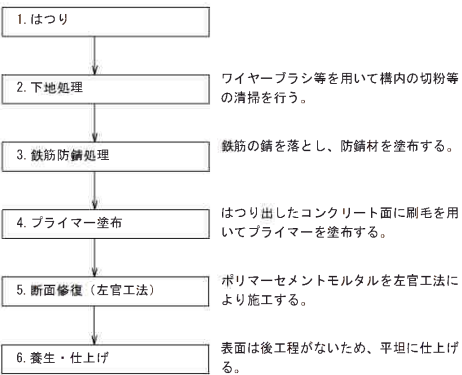
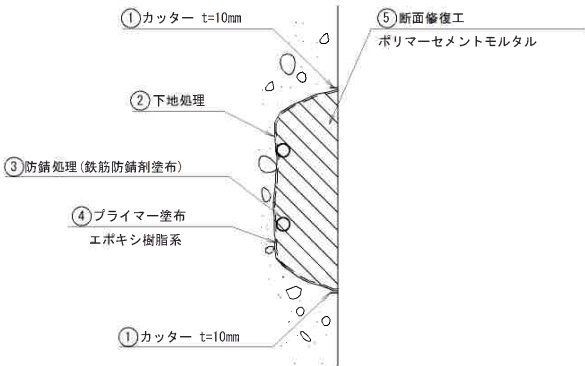
番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積 (m2)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)			
①	剥離・鉄筋露出	20	× 70	1	0.001	横桁02
②	PC定着部の異常(うき)	200	× 200	1	0.040	PC定着部
③	PC定着部の異常(うき)	200	× 200	1	0.040	PC定着部
④	PC定着部の異常(うき)	200	× 200	1	0.040	PC定着部
合計					0.121	

ひびわれ注入エ（リハビリシリンダー工法）



- ※ 注意事項
- 注入作業はシール材が確実に養生硬化していることを確認してから行い、注入圧0.4MPa以下の低圧で、かつ低速で注入すること。
 - 注入パイプ等の除去は、注入材が硬化していることを確認してから行い、シール材除去後コンクリート面を平滑処理すること。

断面修復工



- ※ 注意事項
- 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1cm程度、コンクリートカッターにより切断目地を入念に施工する。
 - 剥離・豆板部は、うき・ぜい弱部分をはつり取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面を補修する。
 - 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防錆処理を入念に行った後、断面補修する。
 - 断面修復材
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。
 - かぶり
純かぶり30mmを最低確保すること。

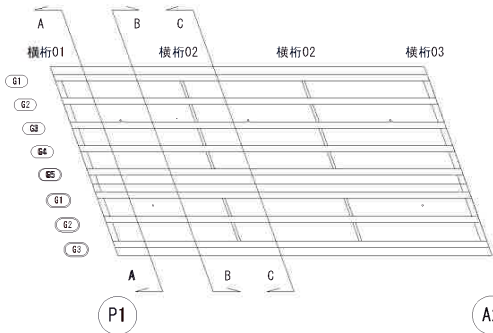
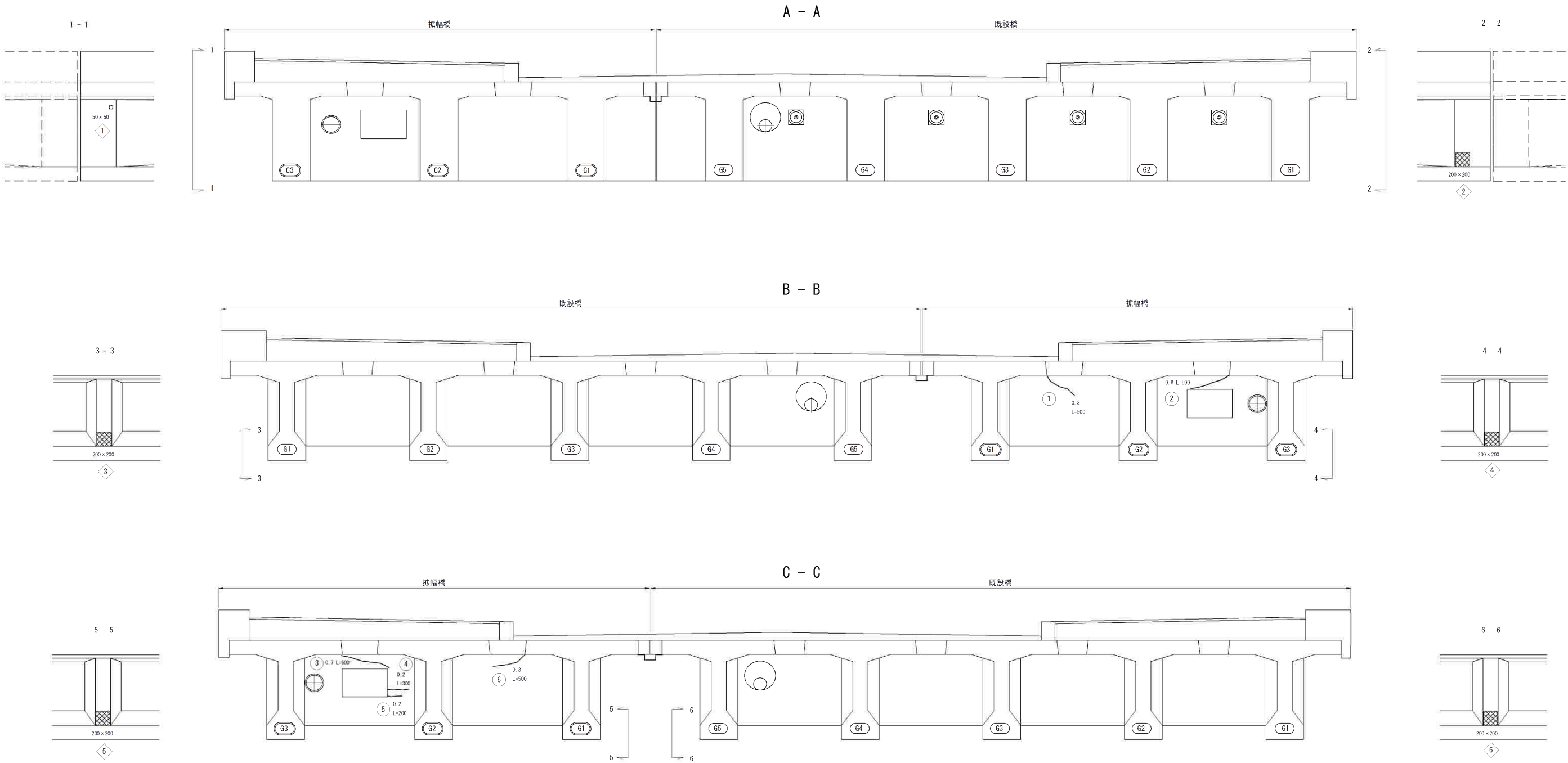
補修 凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (リハビリシリンダー工法)	①
断面修復工	②

中央橋 補修図(その11)

S=1:30

－ 横桁補修工 (4) －

横桁 (P1-A2)



(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

補修 凡例

損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (リハビリシンダー工法)	(n) ~~~~~
断面修復工	(n) [hatched box]

令和5年度 中央橋橋梁補修工事 道路計画事業	
市道 中央道線	
加東市 岡本 地内ほか	
中央橋 補修図(その11) 横桁補修工 (4)	13 業 全
縮尺 図示	21
加 東 市	

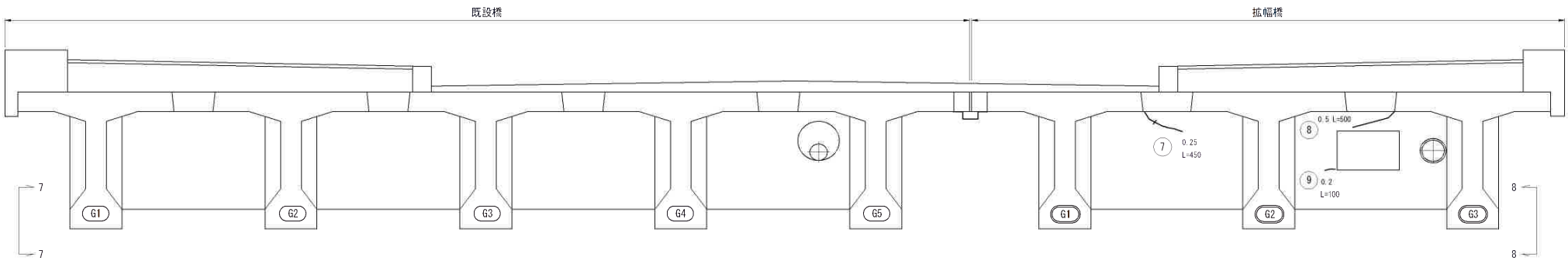
中央橋 補修図(その12)

S=1:30

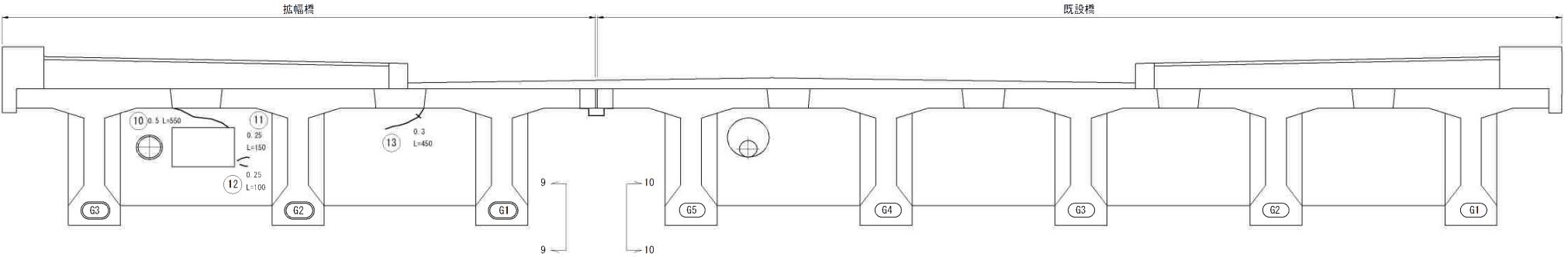
－ 横桁補修工 (5) －

横桁 (P1-A2)

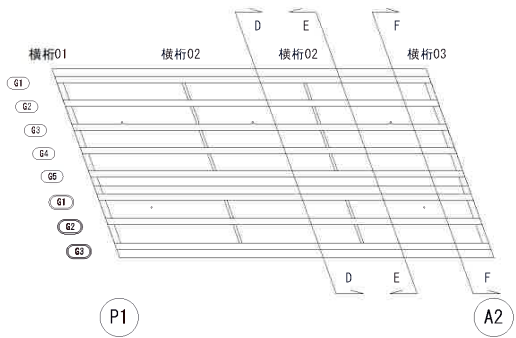
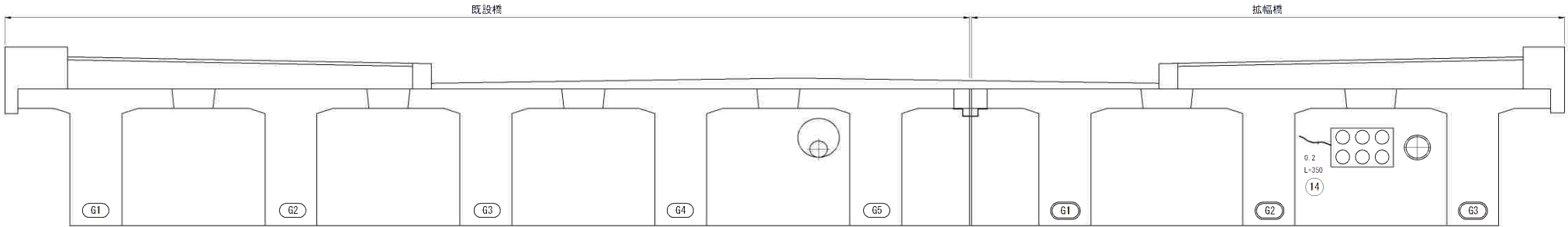
D - D



E - E



F - F



補修 凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (リハビリシリンダー工法)	n
断面修復工	n

(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

令和5年度 中央橋橋梁補修工事	
道路設計事業	
市道 中央道線	
加東市 岡本 地内ほか	
中央橋 補修図(その12)	14 業
横桁補修工 (5)	21 全
縮尺	図示
加 東 市	

中央橋 補修図(その13)

S=1:30

－ 横桁補修工 (6) －

横桁 (P1-A2)

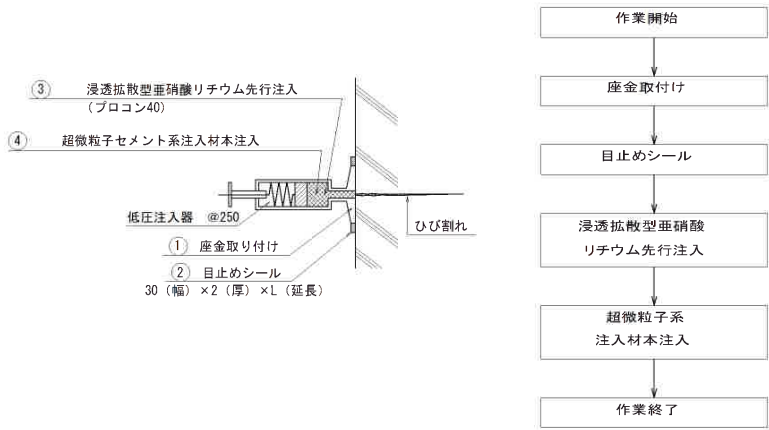
ひびわれ注入エー覧表（リハビリシリンダー工法）

番号	ひびわれ			箇所	ひびわれ長 (m)	備考
	幅 (mm)	×	長さ (mm)			
①	0.30	×	500	1	0.500	横桁02
②	0.80	×	500	1	0.500	横桁02
③	0.70	×	600	1	0.600	横桁02
④	0.20	×	300	1	0.300	横桁02
⑤	0.20	×	200	1	0.200	横桁02
⑥	0.30	×	500	1	0.500	横桁02
⑦	0.25	×	450	1	0.450	横桁02
⑧	0.50	×	500	1	0.500	横桁02
⑨	0.20	×	100	1	0.100	横桁02
⑩	0.50	×	550	1	0.550	横桁02
⑪	0.25	×	150	1	0.150	横桁02
⑫	0.25	×	100	1	0.100	横桁02
⑬	0.30	×	450	1	0.450	横桁02
⑭	0.20	×	350	1	0.350	横桁03
合計					5.250	

断面修復エー覧表

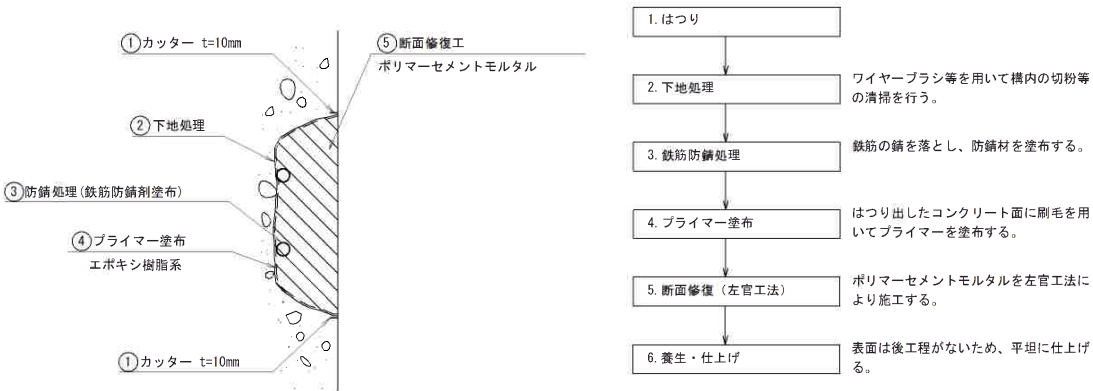
横桁 (P1 - A2)							
番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積 (㎡)	備考	
		縦 (mm)	× 横 (mm)				
①	剥離・鉄筋露出(剥離)	50	× 50	1	0.003	横桁01	
②	PC定着部の異常(うき)	200	× 200	1	0.040	PC定着部	
③	PC定着部の異常(うき)	200	× 200	1	0.040	PC定着部	
④	PC定着部の異常(うき)	200	× 200	1	0.040	PC定着部	
⑤	PC定着部の異常(うき)	200	× 200	1	0.040	PC定着部	
⑥	PC定着部の異常(うき)	200	× 200	1	0.040	PC定着部	
⑦	PC定着部の異常(うき)	200	× 200	1	0.040	PC定着部	
⑧	PC定着部の異常(うき)	200	× 200	1	0.040	PC定着部	
⑨	PC定着部の異常(うき)	200	× 200	1	0.040	PC定着部	
⑩	PC定着部の異常(うき)	200	× 200	1	0.040	PC定着部	
合計					0.363		

ひびわれ注入エ（リハビリシリンダー工法）



- ※ 注意事項
- 注入作業はシール材が確実に養生硬化していることを確認してから行い、注入圧0.4MPa以下の低圧で、かつ低速で注入すること。
 - 注入パイプ等の除去は、注入材が硬化していることを確認してから

断面修復工



- ※ 注意事項
- 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1cm程度、コンクリートカッターにより切断目地を入念に施工する。
 - 剥離・豆板部は、うき・ぜい弱部分をはつり取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面を補修する。
 - 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防錆処理を入念に行った後、断面補修する。
 - 断面修復材
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。
 - かぶり
純かぶり30mmを最低確保すること。

補修 凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (リハビリシリンダー工法)	① 〰
断面修復工	② 〰

中央橋 補修図(その14)

－ 支承補修工 －

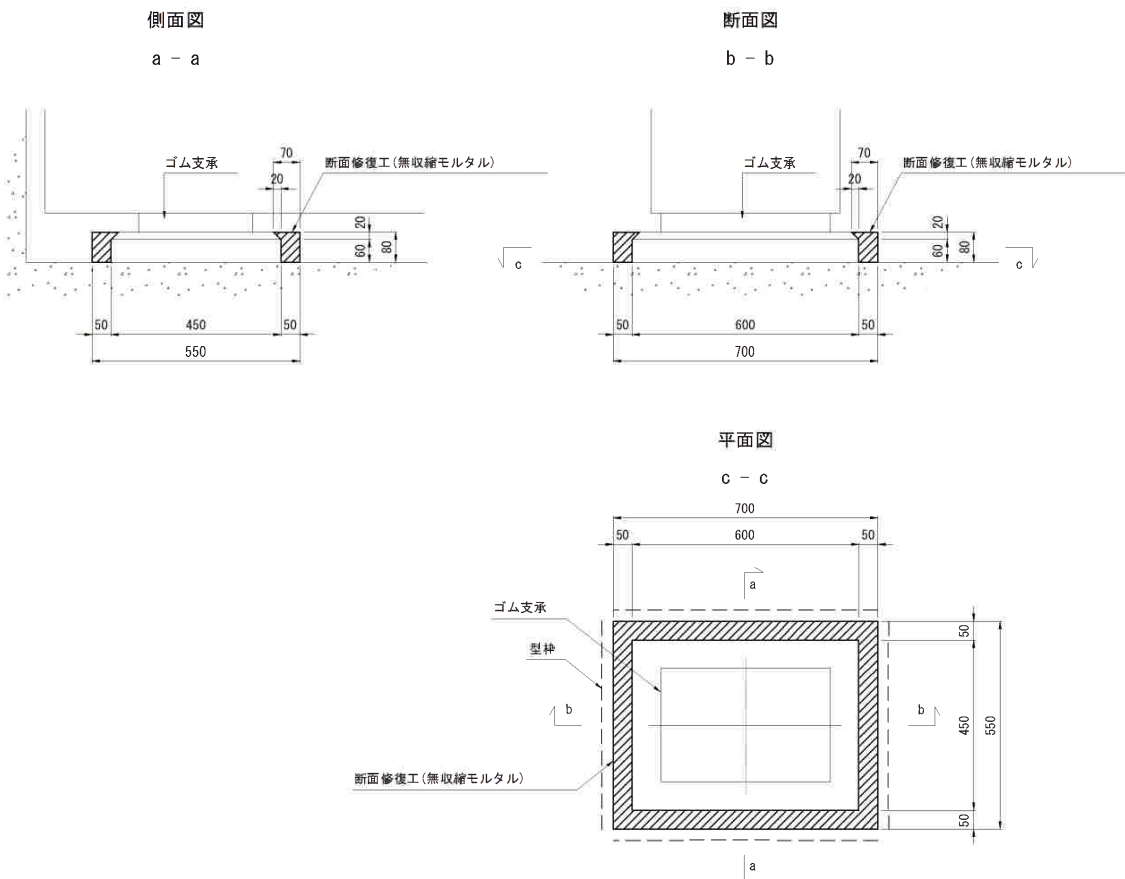
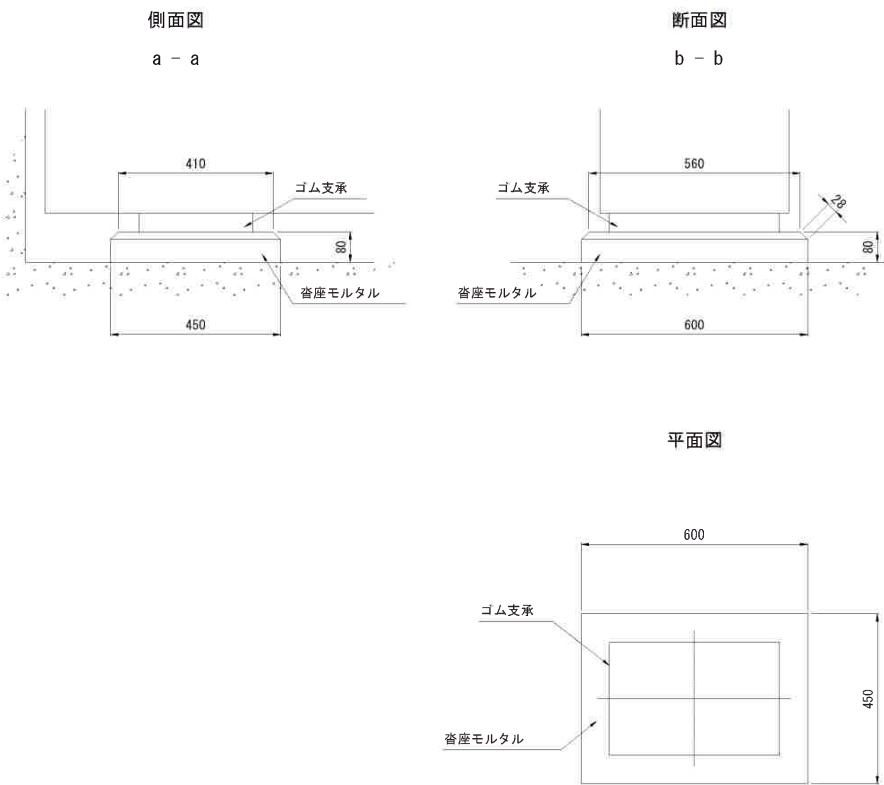
沓座モルタル補修要領図

S=1:10

(全32箇所)

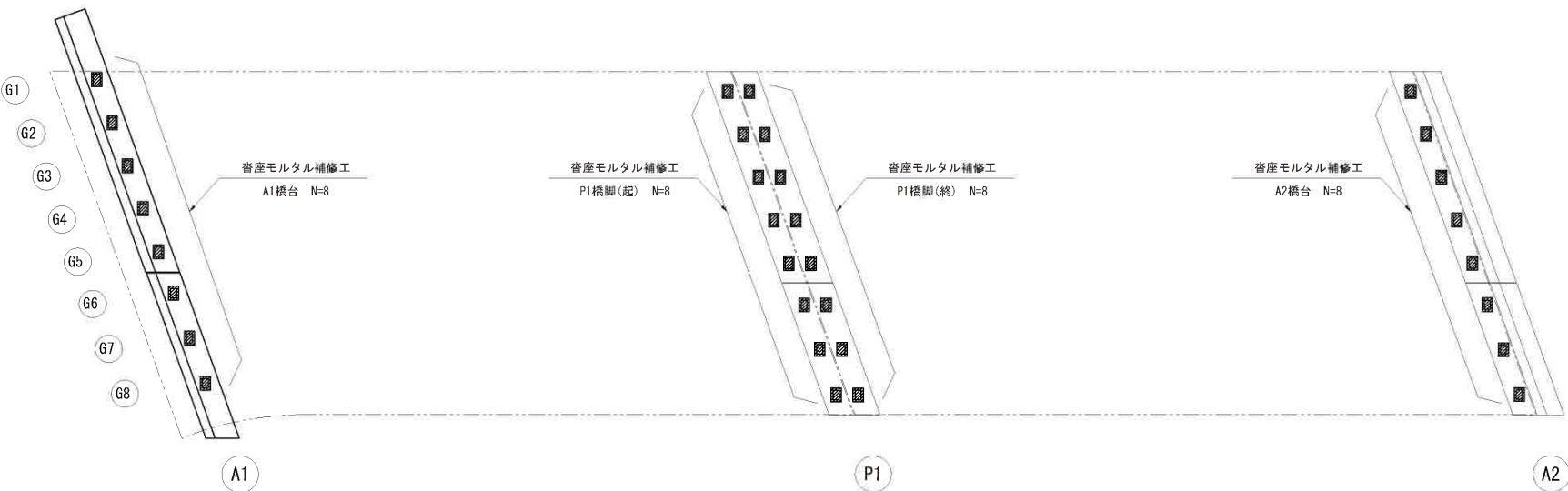
現況図

補修



※ 背面側については、施工が出来る範囲で設置すること。

位置図



沓座モルタル補修工数量

(A1-A2径間)

名 称	仕 様・寸 法	単 位	数 量	備 考
チッピング工		m2	9.536	
断面修復工	無収縮モルタル	m3	0.320	
	型枠	m2	6.400	

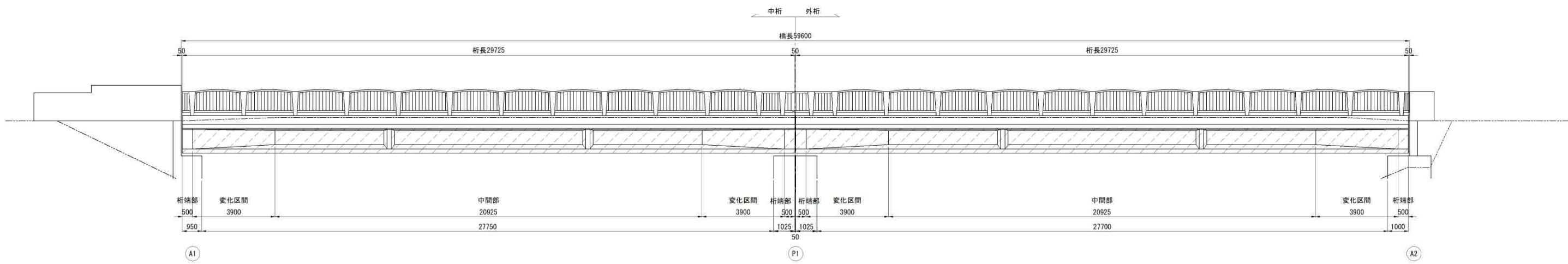
(注意事項)

1. 本図面は、点検票書および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

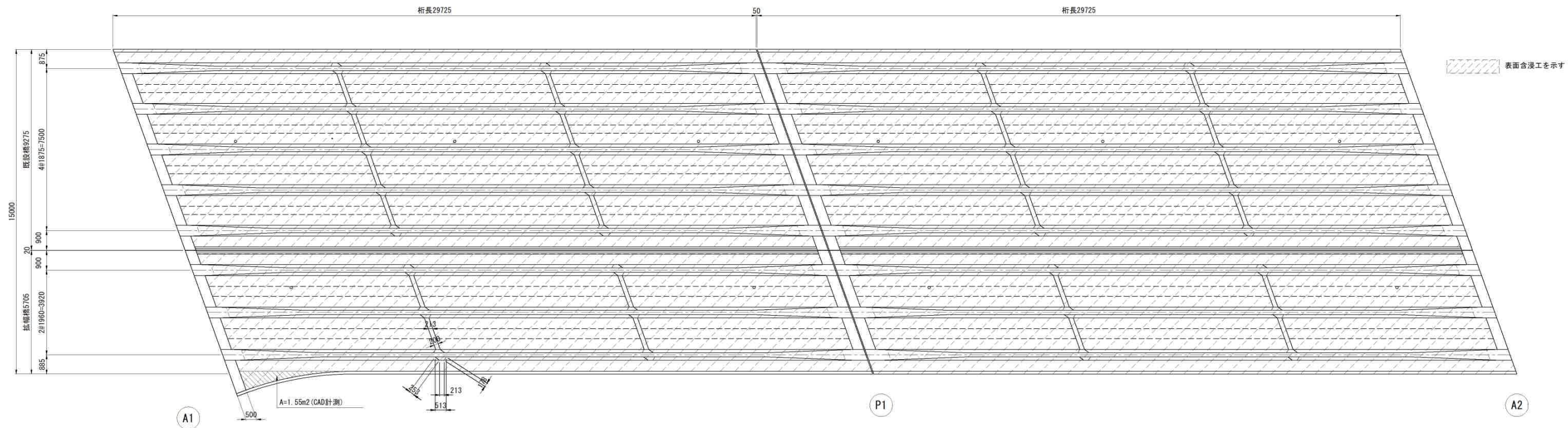
中央橋 補修図(その15)

— 表面含浸工 —

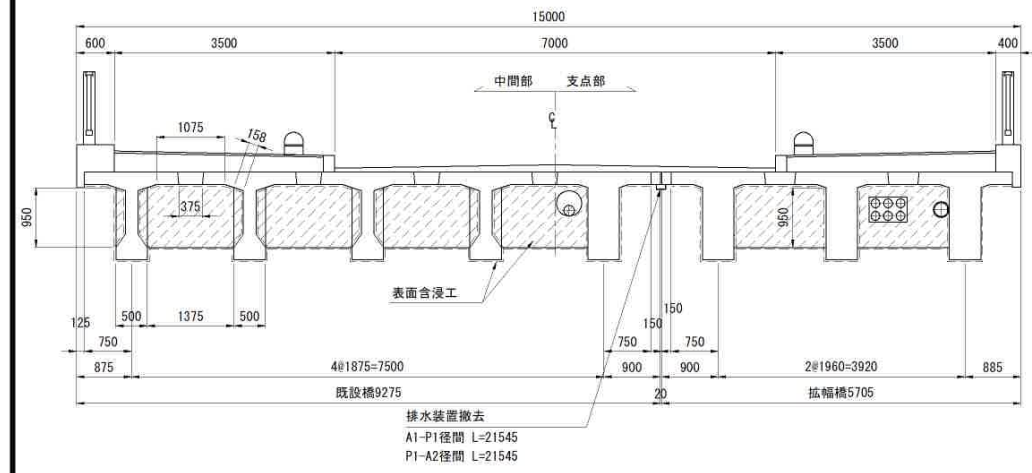
側面図 S=1:100



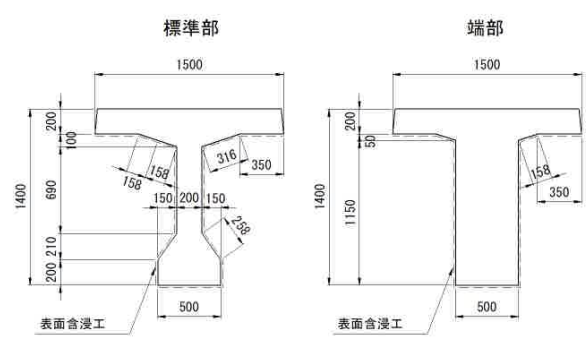
平面図 S=1:100



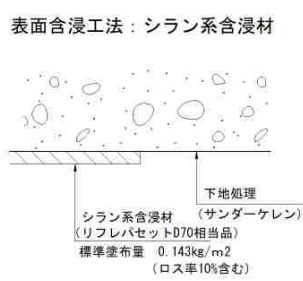
上部工断面図 S=1:60



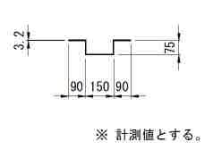
主桁詳細図 S=1:30



表面含浸工詳細図



排水装置撤去



表面含浸工

名 称	仕様・寸法	単 位	数 量	備 考
表面含浸工	シラン系	m ²	1526.6	主桁
	シラン系	m ²	444.2	床版
	シラン系	m ²	130.0	横桁
合計			2100.8	

排水装置撤去工

名 称	仕様・寸法	単 位	数 量	備 考
排水装置撤去	t=3.2mm×480	m	43.1	

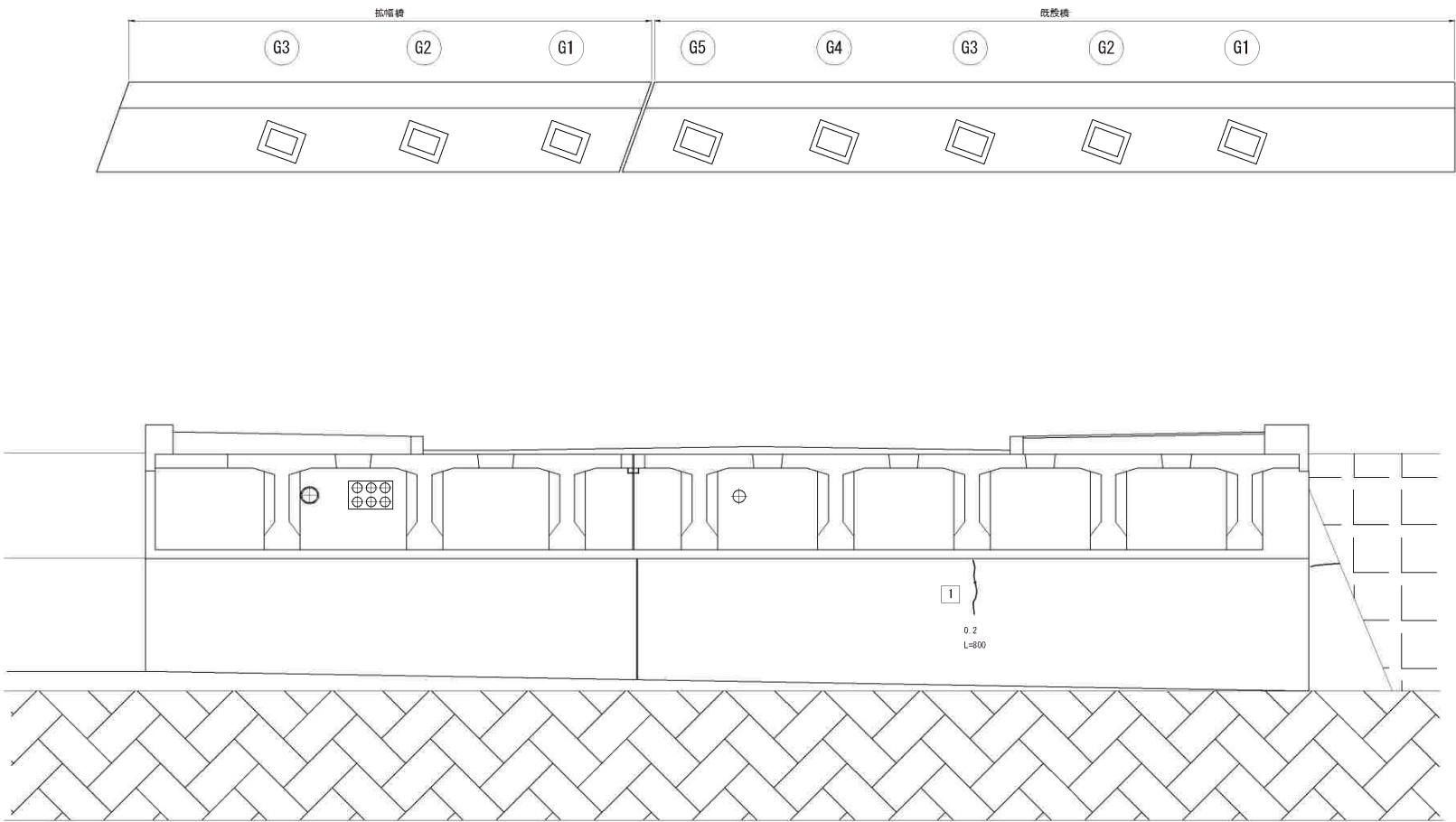
(注意事項)
1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

中央橋 補修図(その16)

S=1:50

－ 下部工補修工 (1) －

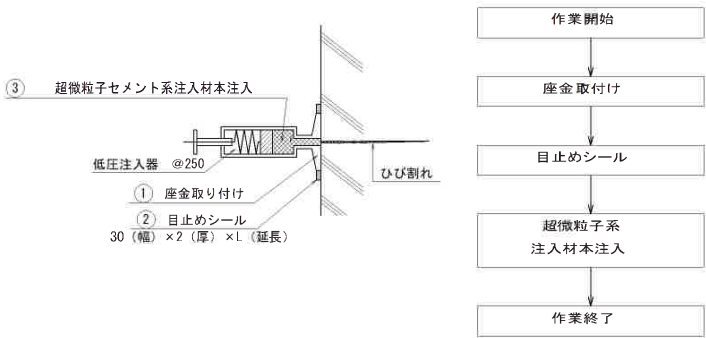
A1橋台



ひびわれ注入工一覧表（超微粒子セメント系）

A1橋台					
番号	ひびわれ		箇所	ひびわれ長 (m)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)			
1	0.20	800	1	0.800	下部工01
合計				0.800	

ひびわれ注入工（超微粒子セメント系）



- ※ 注意事項
- 1) 注入作業はシール材が確実に養生硬化していることを確認してから行い、注入圧0.4MPa以下の低圧で、かつ低速で注入すること。
 - 2) 注入パイプ等の除去は、注入材が硬化していることを確認してから行い、シール材除去後コンクリート面を平滑処理すること。

(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用するには、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

補修 凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (超微粒子セメント系)	n

中央橋 補修図(その17)

S=1:50

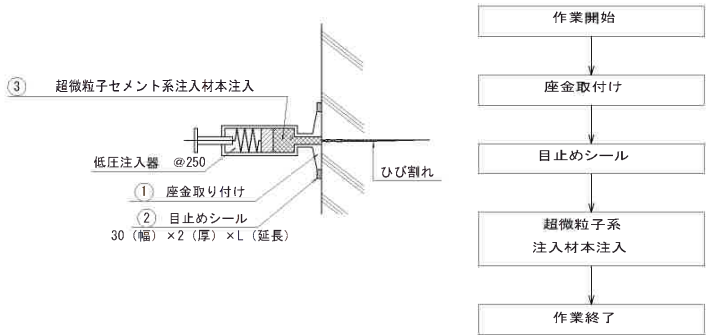
下部工補修工 (2) -

P1橋脚

ひびわれ注入工一覧表 (超微粒子セメント系)

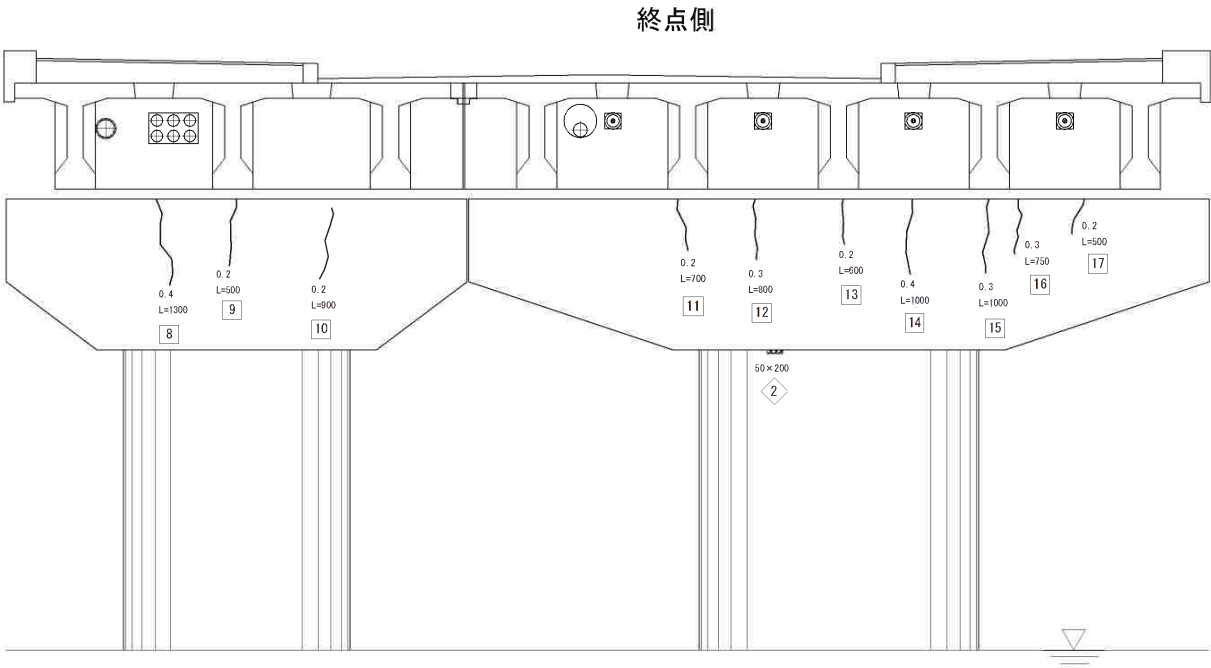
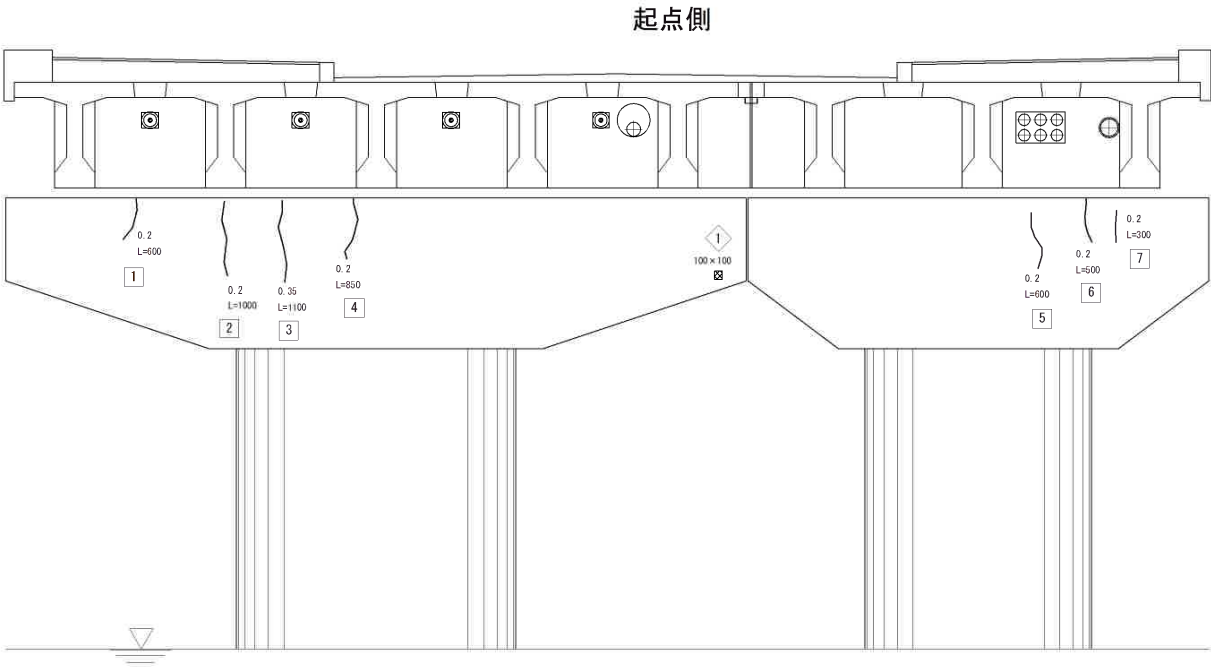
番号	ひびわれ			箇所	ひびわれ長 (m)	備考
	幅 (mm)	×	長さ (mm)			
1	0.20	×	600	1	0.600	下部工01
2	0.20	×	1000	1	1.000	下部工01
3	0.35	×	1100	1	1.100	下部工01
4	0.20	×	850	1	0.850	下部工01
5	0.20	×	600	1	0.600	下部工01
6	0.20	×	500	1	0.500	下部工01
7	0.20	×	300	1	0.300	下部工01
8	0.40	×	1300	1	1.300	下部工01
9	0.20	×	500	1	0.500	下部工01
10	0.20	×	900	1	0.900	下部工01
11	0.20	×	700	1	0.700	下部工01
12	0.30	×	800	1	0.800	下部工01
13	0.20	×	600	1	0.600	下部工01
14	0.40	×	1000	1	1.000	下部工01
15	0.30	×	1000	1	1.000	下部工01
16	0.30	×	750	1	0.750	下部工01
17	0.20	×	500	1	0.500	下部工01
合計					13.000	

ひびわれ注入工 (超微粒子セメント系)



- ※ 注意事項
- 注入作業はシール材が確実に養生硬化していることを確認してから行い、注入圧0.4MPa以下の低圧で、かつ低速で注入すること。
 - 注入パイプ等の除去は、注入材が硬化していることを確認してから行い、シール材除去後コンクリート面を平滑処理すること。

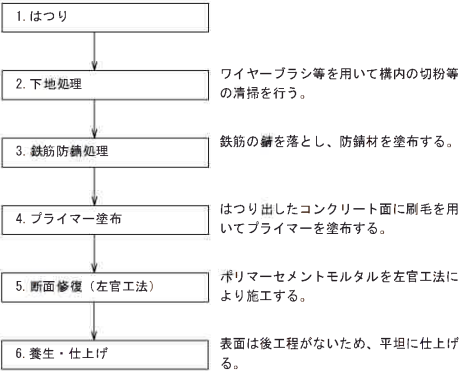
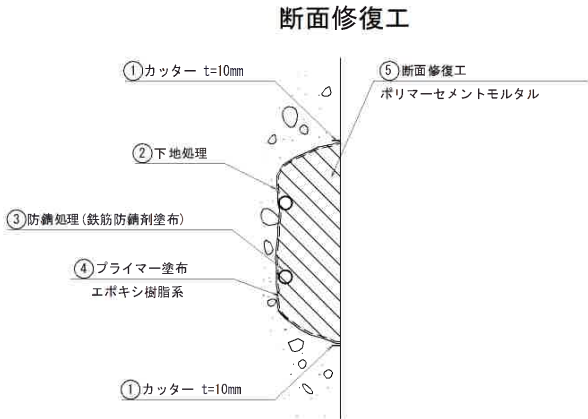
補修 凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (超微粒子セメント系)	n
断面修復工	n



断面修復工一覧表

P橋脚

番号	損傷の種類	損傷範囲		箇所	面積 (m2)	備考
		縦 (mm)	横 (mm)			
1	剥離・鉄筋露出	100	× 100	1	0.010	下部工01
2	剥離・鉄筋露出	50	× 200	1	0.010	下部工01
合計					0.020	



- ※ 注意事項
- 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1cm程度、コンクリートカッターにより切断目地を入念に施工する。
 - 剥離・豆板部は、うき・ぜい弱部分をはつり取り、鉄筋が見えた場合は、鉄筋防錆処理後、欠損断面を補修する。
 - 鋼材露出部は、はつり後、鉄筋の防錆処理を入念に行った後、断面補修する。
 - 断面修復材
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。
 - かぶり
純かぶり30mmを最低確保すること。

- (注意事項)
- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

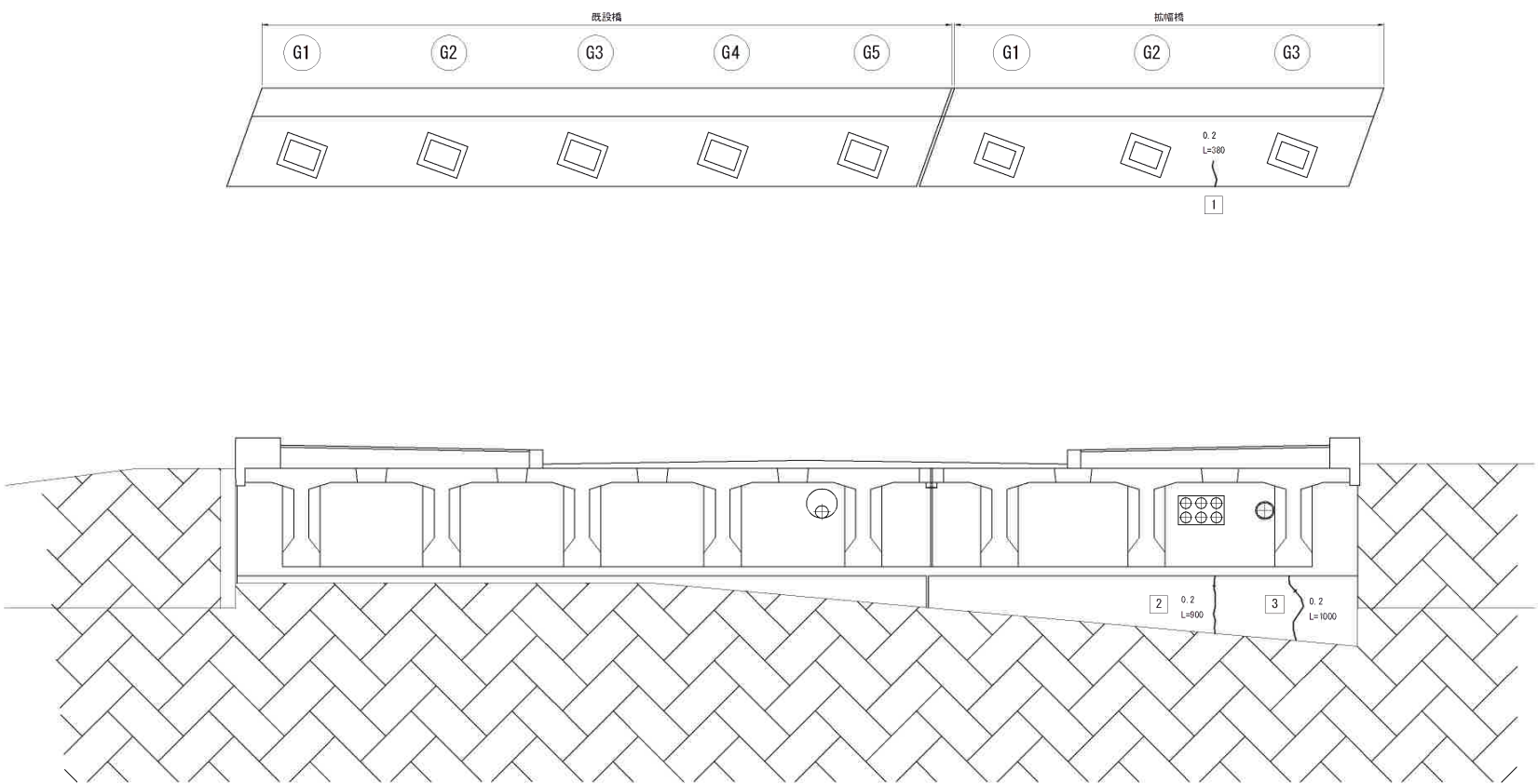
令和5年度 道路メンテナンス事業	中央橋橋梁補修工事
市道	中央道線
加東市 岡本 地内ほか	
中央橋 補修図(その17) 下部工補修工 (2)	19 業 金
縮尺	図示
加東市	

中央橋 補修図(その18)

S=1:50

下部工補修工 (3)

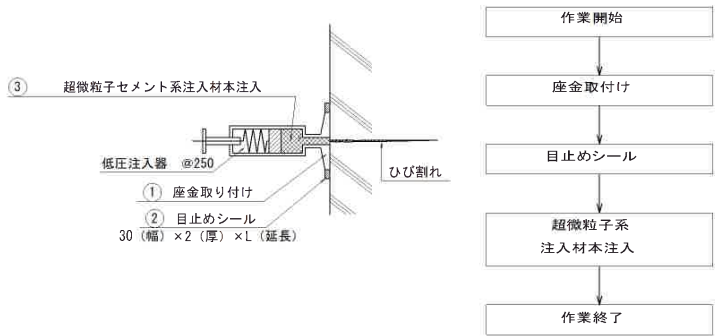
A2橋台



ひびわれ注入工一覧表（超微粒子セメント系）

番号	ひびわれ		箇所	ひびわれ長 (m)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)			
1	0.20	× 380	1	0.380	下部工02
2	0.20	× 900	1	0.900	下部工02
3	0.20	× 1000	1	1.000	下部工02
合計				2.280	

ひびわれ注入工（超微粒子セメント系）



- ※ 注意事項
- 注入作業はシール材が確実に養生硬化していることを確認してから行い、注入圧0.4MPa以下の低圧で、かつ低速で注入すること。
 - 注入パイプ等の除去は、注入材が硬化していることを確認してから行い、シール材除去後コンクリート面を平滑処理すること。

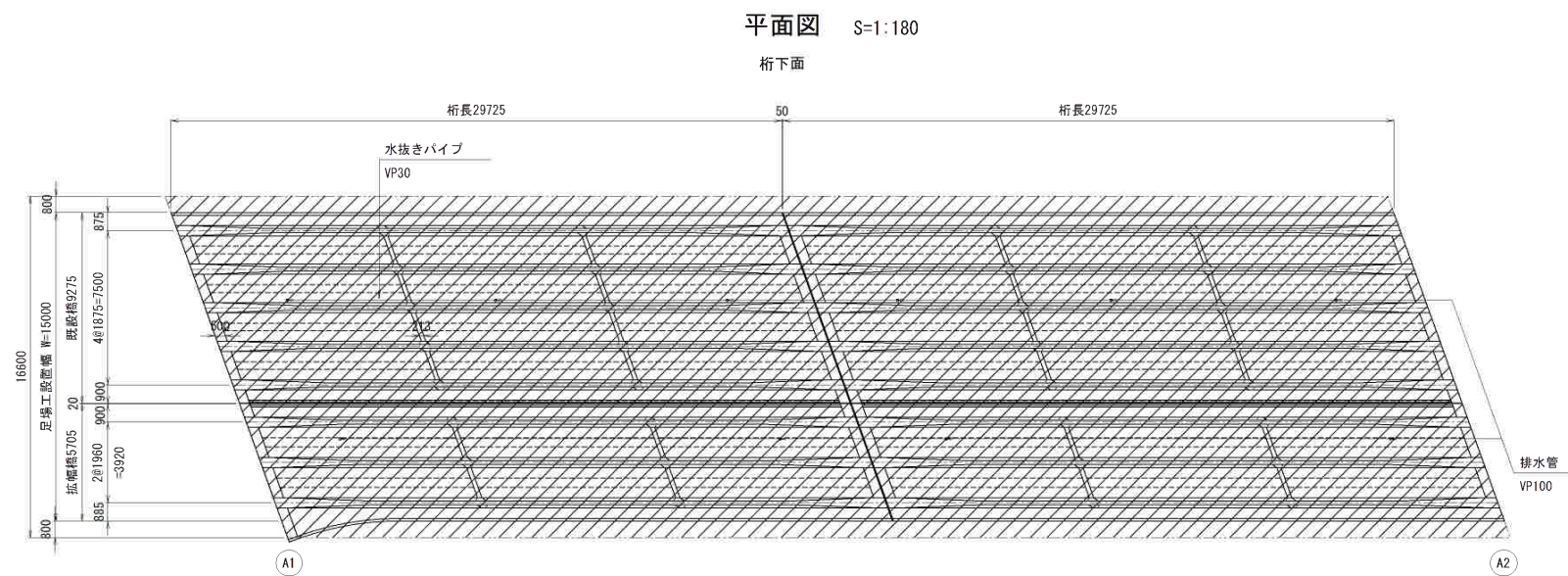
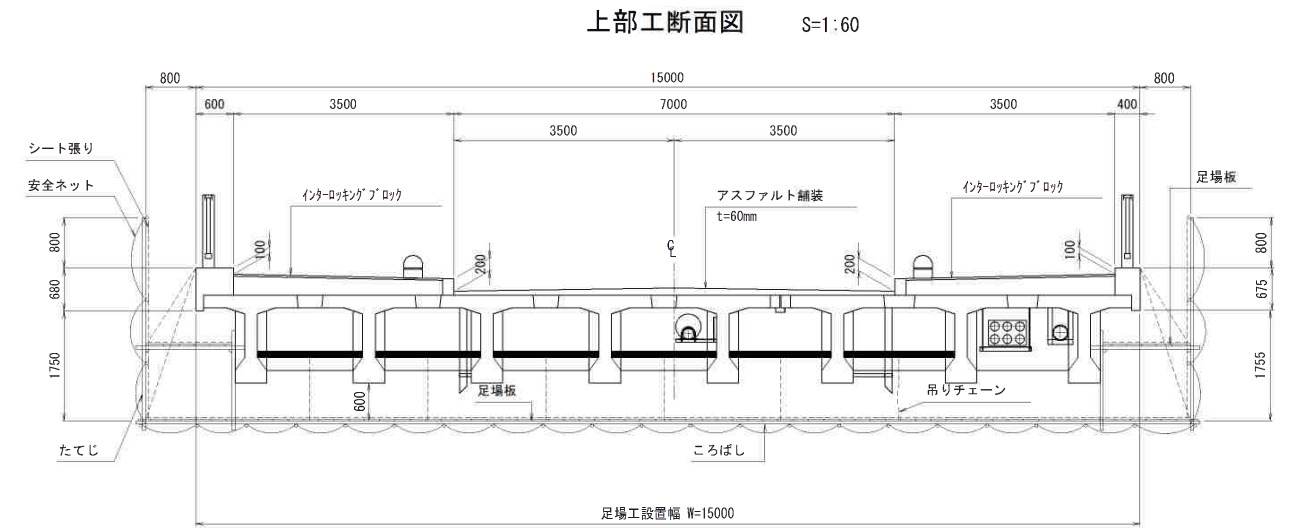
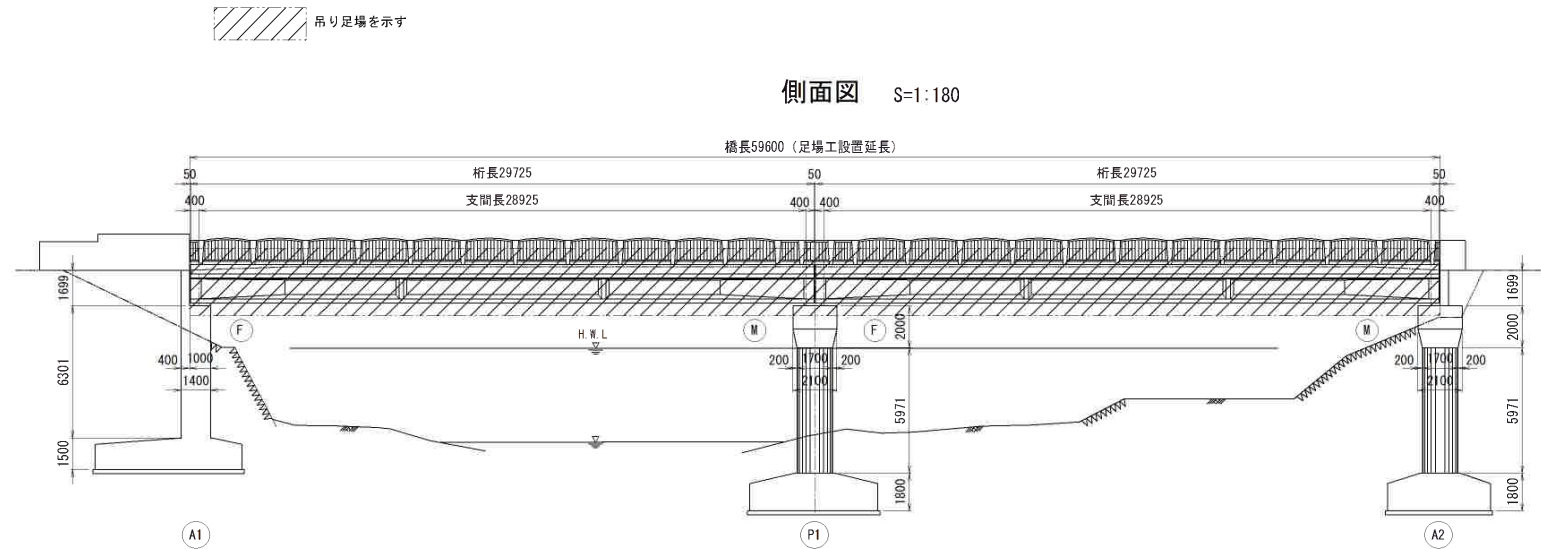
(注意事項)

- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

補修 凡例	
損傷の種類	表示
ひびわれ注入工 (超微粒子セメント系)	n

令和5年度 中央橋橋梁補修工事	
道路維持計画事業	
市道 中央道線	
加東市 岡本 地内ほか	
中央橋 補修図(その18)	20 業 全
下部工 補修工 (3)	
縮尺 図示	21
加 東 市	

中央橋 足場計画図（参考図）



足場工数量表

名 称	仕様・寸法	単位	数量	備考
足場工	吊足場	m2	894.00	Type-A1, B

(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

令和5年度 中央橋樑梁補修工事 道路維持費事業	
市道 中央道線	
加東市 岡本 地内ほか	
足場計画図（参考図）	21 葉 全
縮尺 図示	21
加 東 市	